



Title	工業集積地域における児童・生徒の生活と親の意識：第3章 父母の教育意識
Author(s)	小内, 透; 古久保, さくら; 小野寺, 理佳 他
Citation	『調査と社会理論』・研究報告書, 17, 65-94
Issue Date	1999-06
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/22633
Type	departmental bulletin paper
File Information	17_P65-94.pdf



第3章 父母の教育意識

第2章において、児童・生徒の生活と意識を実態に即して見てきた。学校への適応の仕方はジェンダーや階層によって異なる傾向が見られ、放課後の生活のしかたにも、一定のジェンダー差や階層差が見受けられた。しかし、こうした児童・生徒の生活実態について議論するとき、無視できないものに親の存在がある。習い事をするにしても、塾に行くにしても、その費用は親が負担するのであり、親の存在や意向を無視して児童・生徒が行動できるわけではない。児童・生徒の年齢では、彼らの生活実態へ対する親の影響度はとりわけ大きいと思われる。ただ、その親の存在の大きさ、あるいは子どもの行動への親の影響力の大きさやあり方には、多様性があるであろう。

そこで、本章では、児童・生徒の生活に影響を与える父母の教育意識について明らかにしてみたいと思う。まず、第1節で親の教育観と社会観の特徴について試みる。親の生徒・児童との関係や親の児童・生徒への影響力を見るために、親の考え方をしておくことが必要である。第2節では、親と子どもの接触のあり方＝関わり方を論ずる。第3節では、子どもの将来に関して、親子の希望・展望を比較検討することによって、親の児童・生徒への影響力のあり方を探りたい。

第1節 親の教育観と社会観

(1)教育・地域活動への参加

親の教育観は、教育に関する様々な考え方と同時に、教育やそれに関わる地域活動への参加に対する姿勢から把握することができる。そこで、ここでは、まず、後者の点について、表51にもとづいて、子ども会の世話、スポーツ少年団の世話、教育の講演会、PTAの世話、授業参観の4つの観点から検討してみよう。

この表から、なによりもまず指摘できるのは、いずれの項目に関しても、学年、男女問わず、母親の方が父親よりも積極的に参加している者が多いことである。父親の場合、参加者（参加する+時々参加する）が50%を超えるのは小3・小5の男子の授業参観（51.0%、51.1%）だけであり、それ以外は20~40台が中心で、教育の講演会は10%前後しかない。これに対し、母親はスポーツ少年団の世話が20~40%台である以外は、すべて50%を超えている。教育の講演会が50~60%台、子ども会の世話・PTAの世話が70~80%台、授業参観に至ってはほぼ100%に達している。

そのうち、父親についてみると、スポーツ少年団の世話で男子を子どもにもつ者の方が子どもが女子である場合よりもおよそ10~20%多い点で子どもの性による違いが見られる。また、中2になると授業参観に参加する者が大きく減少する（男子：小3・51.0%→小5・51.1%→中2・30.6%、女子：小3・48.6%→小5・49.1%→中2・29.2%）という学年による違いもある。しかし、これら以外には、男女差も学年差も見られない。階層別に見ると、小3・小5で安定的経営・管理層と安定的労働者層に他の階層と比べ授業参観にでる父親が多い点、小3で安定的経営・管理層に子ども会の世話をする父が相対的に多い点特徴的である。

一方、母親の場合、父親と同様、女子よりも男子を子どもにもつ者にスポーツ少年団の世話をする者が多い。しかし、父親と異なり、学年の違いはまったくない。階層的な違いも、小5の安定的経営・管理層の母に子ども会の世話をする者が多いが、それ以外には、目立った点はない。

こうして、父母の教育・地域活動への参加に関しては、いずれの活動にも母親の方が父親よりも強く関わっており、母親の方が父親よりも子どもの学年・階層による違いが小さいことが明らかになる。しかし、これは、母親の方が父親よりもこれらの活動の意義を積極的に受けとめている結果であるとばかりは、単純にいけない。父親の方がこれらに割ける時間が少ないこともあるだろうし、子育てに関わる活動は、母親の仕事であるという意識が父母ともに強いことの現われと考えることもできる。したがって、ここで明らかに結果は、単純に父母の教育観や社会観の違いを示すものとうけとめることはできない。

表51 教育・地域活動への参加（参加する+時々参加する）

単位：%

		父					母					
		子ども 会の世 話	ｽﾎﾟｰｯ 少年団 の世話	教育の 講演会	PTA の世話	授 業 参 観	子ども 会の世 話	ｽﾎﾟｰｯ 少年団 の世話	教育の 講演会	PTA の世話	授 業 参 観	
男	小 3	安定的経営・管理層	50.0	29.1	6.5	38.7	68.8	87.5	35.5	59.4	87.5	100.0
		不安定経営・管理層	28.2	18.0	5.3	23.7	30.8	79.5	33.3	55.3	79.0	100.0
		自 営 業 層	49.3	26.2	7.1	22.9	55.4	87.3	32.9	54.6	70.1	100.0
		安 定 的 労 働 者 層	36.5	22.0	10.2	29.6	53.0	85.0	34.2	51.7	76.5	100.0
		不 安 定 労 働 者 層	36.4	19.4	5.0	28.5	47.0	80.4	28.2	58.0	75.9	97.3
		計	39.7	22.4	7.3	28.0	51.0	83.8	32.2	55.1	76.0	99.2
	小 5	安定的経営・管理層	41.0	34.2	2.6	20.5	59.0	84.6	47.3	73.7	84.6	97.5
		不安定経営・管理層	42.6	35.2	13.0	31.5	37.0	91.0	48.2	78.2	87.1	100.0
		自 営 業 層	42.2	31.6	6.2	28.8	45.9	86.8	48.0	62.9	86.8	100.0
		安 定 的 労 働 者 層	41.7	36.3	11.4	33.4	71.0	86.5	41.9	61.9	82.4	100.0
		不 安 定 労 働 者 層	41.5	23.8	4.9	25.2	40.6	87.2	35.9	57.6	79.2	99.2
		計	41.8	31.3	7.8	28.6	51.1	87.2	42.6	63.7	83.1	99.6
	中 2	安定的経営・管理層	40.3	21.1	9.1	33.4	39.4	83.2	38.2	75.3	89.6	100.0
		不安定経営・管理層	27.0	39.3	15.6	29.7	34.4	76.2	49.2	72.3	89.2	95.4
		自 営 業 層	36.1	25.8	10.7	35.3	22.6	80.8	37.4	69.7	89.7	97.6
		安 定 的 労 働 者 層	36.1	28.8	9.7	26.7	35.2	75.3	32.1	69.0	86.4	97.8
		不 安 定 労 働 者 層	37.7	25.0	7.7	19.4	28.2	74.3	38.3	62.8	78.5	94.2
		計	36.1	27.2	10.0	28.3	30.6	77.4	37.4	68.6	85.8	96.9
小 3	安定的経営・管理層	35.3	14.7	5.9	32.4	58.8	87.5	17.6	55.9	88.2	100.0	
	不安定経営・管理層	37.5	14.7	17.0	22.5	34.2	85.0	22.0	58.6	74.4	100.0	
	自 営 業 層	40.0	13.0	10.0	23.0	41.3	84.1	22.5	53.6	86.3	98.7	
	安 定 的 労 働 者 層	41.4	16.5	10.2	30.6	57.6	83.1	20.0	49.6	83.2	100.0	
	不 安 定 労 働 者 層	40.4	9.4	5.1	32.4	48.0	81.8	16.0	57.8	77.2	99.1	
	計	39.7	13.3	9.2	28.7	48.6	83.5	19.4	54.5	81.6	99.4	
小 5	安定的経営・管理層	27.0	10.8	2.7	32.4	56.7	67.5	21.6	51.3	81.1	100.0	
	不安定経営・管理層	50.0	10.7	6.9	24.1	50.0	90.0	20.0	66.7	86.7	100.0	
	自 営 業 層	43.6	16.7	17.8	28.4	46.1	85.8	22.4	67.6	86.6	98.1	
	安 定 的 労 働 者 層	50.4	16.8	8.0	25.9	59.9	87.2	20.8	68.3	86.3	100.0	
	不 安 定 労 働 者 層	43.6	10.9	6.0	22.0	37.0	87.0	17.1	48.3	73.5	97.4	
	計	44.5	14.2	9.4	26.0	49.1	85.2	20.2	60.7	82.3	98.8	
中 2	安定的経営・管理層	41.5	21.7	14.3	21.7	34.2	85.9	28.2	81.7	92.9	98.6	
	不安定経営・管理層	36.6	18.9	16.7	33.4	37.7	80.3	20.7	70.5	86.7	98.4	
	自 営 業 層	29.0	15.5	14.8	23.6	22.2	77.8	28.1	69.0	79.0	97.6	
	安 定 的 労 働 者 層	42.7	17.8	13.5	33.4	35.7	80.4	23.2	70.9	88.5	97.7	
	不 安 定 労 働 者 層	37.9	16.0	8.2	21.3	24.1	84.1	22.7	59.6	82.4	97.7	
	計	37.2	17.3	12.9	26.4	29.2	81.4	24.7	68.5	84.6	97.8	

(2)学歴社会観と子どもの勉強に関する見方

それは、表52のように、現在の社会が学歴社会だとみなす者の割合が父母ともに変わらないという点からもうかがえる。すなわち、「現在は学歴重視の社会だと思う」と答えた者は、いずれの子どもの学年・性別でも、父母ともに60%台である。階層別に見ても、多少ばらつきが見られるようになるものの、一貫した階層差は見られない。しかも、父母とも「現在は学歴重視の社会だと思う」と答えた者のうち、「今後どうなるか」との問いに「能力重視になる」と答えた者と「学歴重視は変わらない」と答えた者の割合がほぼ40%台で均衡しており、この点でも父母の違いは見られない。その意味で、教育・地域活動に関して見られた父母の違いとは対照的である。

ただし、安定的経営・管理層の母親の場合、男女ともいずれの学年でも「能力重視になる」と答えた者がすべての階層の中でもっとも高くなっている点にも、注意する必要がある。彼女たちの多くは、現在は学歴社会だがやがて能力重視の社会になると考えているということである。しかし、こうした考え方も、母親の場合、すでに見たように教育・地域活動への参加のあり方に階層差がない点をふまえると、両者の間には直接的な結びつきはないととらえられる。

ところで、こうした社会観は塾の必要性に関する父母の考え方に少なからぬ影響を与えるはずである。現在が学歴の重視される社会であると見なす父母の場合、それに対応して塾が必要であると答える可能性が高いと予想できる。たしかに、表53を見ると、母親の場合、現在の社会を学歴社会ととらえる者と同じく学年、男女問わず、60%台が塾を必要であると考えている。しかし、父親の場合、60%台の者が現代を学歴社会と見なしていたにもかかわらず、塾が必要だとする者はいずれの学年においても男女とも40%後半からせいぜい50%強しか存在しない。その数値は、母親より少なく、現代を学歴社会であると認識している父親の割合より少ない。したがって、母親の学歴社会観と塾の必要性に対する認識は相即しているが、この点に関して、父親は異なっているということになる。

しかも、階層別に見ると、父母とも一貫した階層差は見られない。したがって、この点では、父親の場合、学歴社会観と同様な傾向が見られるが、母親の場合、一定の階層差の見られた学歴社会観とは異なっている。

その意味で、塾の必要性に関する考え方は、父母ともに学歴社会観のあり方とは異なっていると見なすことができる。なぜなら、父の場合、学歴社会観の強さと比べ塾の必要性の認識は弱く、母の場合、一定の階層差の見られた学歴社会観と異なり、塾の必要性の認識には階層差は見られなかったからである。

それは、調査対象となった子どもにふさわしいと思う勉強時間やTV視聴時間に関しても同様にあてはまる。実際、父母ともに子どもの性にかかわらず、学年が上がるに従って、子どもにふさわしいと思う勉強時間は長くなり、TV視聴時間は中2の段階で短くなる。その結果、中2では勉強時間が1時間48分（父）、1時間57分（母）、TV視聴時間が1時間43分（父）、1時間41分（母）で、勉強時間の方がTV視聴時間よりも長くなる。それは、学年の違いが見られなかった父母の学歴社会観とは大きく異なっている。

これを階層別に見ると、学年をこえて一貫した差は見られない。しかし、中2の段階で父母ともに男女の違いなく、安定的経営・管理層が他の階層と比べ適当とする勉強時間が長くなり、適当とするTV視聴時間がもっとも短くなる点、逆に不安定労働者層の父母の適当とする勉強時間がもっとも短く、TV視聴時間がもっとも長くなる点が大きな特徴として把握できる。その意味で、学歴社会観の如何や塾の必要性の如何にかかわらず、子どもが中学生段階になると、階層構造において両極をなす安定的経営・管理層と不安定労働者層の間に、子どもにふさわしいとする勉強時間とTV視聴時間に関する考え方の違いが明確に現れるようになるといえる。

このような学歴社会観と子どもの教育に対する考え方との間にある食い違いには、いくつかの原因が考えられるであろう。今日の社会が学歴重視の社会であると考えても、それにふさわしい行動を子どもたちにとらせるわけではないし、子どもの学年によってふさわしいと考える勉強の仕方がことなることもある。しかし、それだけでなく、一方で今日の社会が学歴重視の社会であると考えても、他方では社会にお

表52 学歴社会に関する考え方

単位：%

		現在は 学歴重 視の社 会と思 う	父				母						
			そう思う人の将来予測				そう思う人の将来予測						
			能力重 視にな る	学歴重 視変わ らない	ますま す学歴 重視	その他	能力重 視にな る	学歴重 視変わ らない	ますま す学歴 重視	その他			
男	小	安定的経営・管理層	65.6	65.0	30.0	5.0	0.0	78.1	56.5	39.1	4.3	0.0	
		不安定経営・管理層	71.1	48.1	37.0	14.8	0.0	65.8	40.0	44.0	16.0	0.0	
		自営業層	54.8	46.5	34.9	18.6	0.0	59.1	38.8	34.7	24.5	2.0	
		安定的労働者層	64.7	44.6	47.3	6.8	1.4	70.8	37.8	54.9	6.1	1.2	
		不安定労働者層	58.2	40.0	36.7	21.7	1.7	56.6	26.2	46.2	24.6	3.1	
		計	61.4	46.0	39.3	13.8	0.9	64.2	36.9	45.9	15.6	1.6	
		中	安定的経営・管理層	56.4	59.1	27.3	18.2	0.0	59.0	47.8	43.5	8.7	0.0
	不安定経営・管理層		54.7	37.9	48.3	10.3	3.4	63.6	38.9	44.4	11.1	5.6	
	自営業層		62.9	43.5	33.9	16.1	6.5	64.3	45.3	42.2	10.9	1.6	
	安定的労働者層		61.2	42.3	39.4	15.5	2.8	61.3	32.5	53.2	10.4	3.9	
	不安定労働者層		61.8	35.1	44.2	18.2	2.6	67.9	42.1	40.0	16.8	1.1	
		計	60.5	41.4	39.5	16.1	3.4	64.1	40.3	44.7	12.5	2.4	
		大	安定的経営・管理層	63.6	44.0	48.0	8.0	0.0	62.3	52.0	32.0	16.0	0.0
	不安定経営・管理層		60.3	47.2	38.9	13.9	0.0	72.3	48.9	46.8	4.3	0.0	
	自営業層		56.0	47.0	42.0	11.0	0.0	59.0	39.0	44.0	17.0	0.0	
安定的労働者層	68.2		38.3	47.5	13.3	0.8	73.1	42.9	40.6	14.3	2.3		
不安定労働者層	65.0		40.6	42.6	15.8	2.0	63.6	41.4	44.1	13.5	0.9		
	計	62.9	42.5	44.2	12.8	0.7	65.8	43.3	42.0	13.8	0.9		
女	小	安定的経営・管理層	52.9	47.4	31.6	15.8	5.3	58.8	52.4	38.1	9.5	0.0	
		不安定経営・管理層	61.0	60.0	32.0	8.0	0.0	63.4	48.0	44.0	4.0	4.0	
		自営業層	58.8	43.8	37.5	12.5	6.3	63.4	33.3	53.7	13.0	0.0	
		安定的労働者層	71.4	44.1	44.1	8.8	2.9	69.0	47.8	40.6	11.6	0.0	
		不安定労働者層	55.6	45.8	39.0	13.6	1.7	62.2	35.7	47.1	14.3	2.9	
		計	61.1	46.6	38.8	11.4	3.2	64.1	41.4	45.6	11.7	1.3	
		中	安定的経営・管理層	70.3	44.0	48.0	8.0	0.0	63.9	48.0	40.0	12.0	0.0
	不安定経営・管理層		58.6	55.6	33.3	11.1	0.0	63.3	30.0	65.0	5.0	0.0	
	自営業層		50.0	50.0	40.4	7.7	1.9	54.3	47.4	35.1	15.8	1.8	
	安定的労働者層		69.9	38.3	45.7	13.6	2.5	69.2	43.7	43.7	12.6	0.0	
	不安定労働者層		63.4	40.0	49.2	9.2	1.5	60.2	31.9	52.8	13.9	1.4	
		計	62.0	43.2	44.8	10.4	1.7	61.8	40.6	45.6	13.0	0.8	
		大	安定的経営・管理層	61.8	60.0	25.0	10.0	5.0	59.2	57.1	33.3	9.5	2.4
	不安定経営・管理層		56.7	48.5	30.3	18.2	3.0	76.3	32.6	52.2	10.9	4.3	
	自営業層		51.5	43.5	36.5	17.6	2.4	62.8	40.2	42.1	15.9	1.9	
安定的労働者層	73.2		34.4	50.0	13.9	1.6	70.7	42.6	43.4	11.5	2.5		
不安定労働者層	56.6		47.7	43.2	8.0	1.1	63.3	45.6	37.7	15.8	0.9		
	計	60.4	43.8	40.8	13.3	2.2	65.8	43.2	41.5	13.5	2.1		

表53 塾の必要性、子どもに必要な勉強時間・TV視聴時間 単位：％、?時間?分

		父			母			
		学習塾 は必要	適当な 勉強時 間	適当な TV視 聴時間	学習塾 は必要	適当な 勉強時 間	適当な TV視 聴時間	
男	小	安定的経営・管理層	50.0	0.51	1.56	71.9	0.47	1.39
		不安定経営・管理層	44.7	0.53	1.44	52.6	0.51	1.50
		自営業層	48.2	0.52	1.58	65.9	0.54	2.02
		安定的労働者層	43.9	0.57	1.53	61.9	0.54	1.48
		不安定労働者層	45.5	0.58	1.51	60.7	1.01	1.45
		計	45.9	0.55	1.53	62.4	0.55	1.50
	5	安定的経営・管理層	51.3	1.02	1.48	69.2	1.01	1.38
		不安定経営・管理層	53.8	1.01	1.49	74.1	1.02	1.41
		自営業層	50.0	1.07	2.09	70.4	1.10	2.02
		安定的労働者層	45.1	1.03	1.50	59.8	1.04	1.43
		不安定労働者層	46.3	1.04	1.51	60.7	1.07	2.01
		計	48.2	1.04	1.54	65.0	1.05	1.52
	中	安定的経営・管理層	42.1	2.06	1.36	58.4	2.02	1.37
		不安定経営・管理層	65.6	1.47	1.42	84.4	1.58	1.39
		自営業層	53.9	1.41	1.40	66.7	1.51	1.37
安定的労働者層		59.8	1.48	1.39	73.0	1.59	1.37	
不安定労働者層		46.8	1.38	1.51	59.8	1.50	1.54	
計		53.6	1.46	1.42	67.4	1.55	1.42	
女	小	安定的経営・管理層	29.4	1.00	1.37	51.5	0.56	1.48
		不安定経営・管理層	46.3	0.58	1.45	77.5	0.55	1.41
		自営業層	45.6	0.53	1.48	58.0	0.56	1.42
		安定的労働者層	54.6	0.55	1.50	70.0	0.56	1.47
		不安定労働者層	45.4	1.04	1.48	59.6	1.01	1.57
		計	46.6	0.58	1.47	63.4	0.57	1.48
	5	安定的経営・管理層	62.2	1.05	1.34	70.3	1.03	1.37
		不安定経営・管理層	42.9	1.06	1.46	58.6	0.54	1.57
		自営業層	52.5	1.14	1.50	63.5	1.17	1.50
		安定的労働者層	48.7	1.11	1.53	69.2	1.13	1.50
		不安定労働者層	42.4	1.05	1.58	57.3	1.09	1.58
		計	48.9	1.09	1.51	63.6	1.11	1.52
	中	安定的経営・管理層	46.9	1.54	1.26	55.9	2.01	1.29
		不安定経営・管理層	47.5	1.43	1.39	66.1	1.54	1.36
		自営業層	45.7	1.50	1.47	72.5	2.01	1.45
安定的労働者層		55.2	1.55	1.43	67.1	2.00	1.34	
不安定労働者層		39.9	1.37	1.48	58.6	1.48	1.51	
計		47.0	1.48	1.43	65.0	1.57	1.41	

表54 社会で成功するのに必要なもの（複数回答）

単位：%

		父						母								
		家	柄	才	能	努	力	学	歴	運	有	力	者	の	つ	な
男	小 3	安定的経営・管理層	0.0	71.9	78.1	9.4	31.3	0.0	0.0	62.5	71.9	21.9	34.4	0.0		
		不安定経営・管理層	2.6	44.7	71.1	10.5	55.3	7.9	5.3	60.5	81.6	10.5	31.6	2.6		
		自営業層	3.6	60.2	66.3	13.3	36.1	7.2	6.0	58.3	69.0	13.1	40.5	1.2		
		安定的労働者層	0.9	64.6	68.1	13.3	32.7	9.7	0.8	65.5	69.7	17.6	33.6	5.9		
		不安定労働者層	5.2	60.8	64.9	12.4	32.0	9.3	2.7	65.2	63.4	12.5	34.8	8.9		
		計	2.8	61.2	68.0	12.4	35.5	8.0	2.9	63.1	69.1	14.8	35.3	4.9		
	中 5	安定的経営・管理層	2.7	64.9	70.3	18.9	29.7	8.1	5.1	71.8	69.2	17.9	25.6	5.1		
		不安定経営・管理層	2.0	58.8	68.6	9.8	41.2	7.8	8.9	55.4	75.0	8.9	30.4	5.4		
		自営業層	4.3	51.6	76.3	10.8	37.6	8.6	8.2	63.9	67.0	10.3	37.1	6.2		
		安定的労働者層	2.7	59.5	66.7	15.3	37.8	9.0	0.8	56.8	72.9	16.1	37.3	5.1		
		不安定労働者層	8.4	52.1	63.9	10.1	37.8	10.9	6.6	59.6	66.2	16.2	32.4	6.6		
		計	4.6	56.0	68.6	12.4	37.5	9.2	5.6	60.3	69.5	14.1	33.9	5.8		
中 2	安定的経営・管理層	1.3	65.8	68.4	19.7	34.2	5.3	0.0	59.5	71.6	17.6	48.6	4.1			
	不安定経営・管理層	4.8	50.8	81.0	19.0	25.4	6.3	3.1	57.8	70.3	14.1	40.6	4.7			
	自営業層	2.5	55.3	73.0	10.1	29.6	10.1	3.8	56.9	68.8	15.6	33.8	5.6			
	安定的労働者層	2.3	59.2	67.2	23.0	26.4	8.0	1.1	56.0	78.0	15.4	34.1	1.1			
	不安定労働者層	4.1	50.3	68.0	17.7	35.4	12.9	2.4	50.3	75.7	15.4	39.1	4.7			
	計	2.9	56.1	70.4	17.6	30.2	9.2	2.2	55.3	73.7	15.6	37.6	3.9			
女	小 3	安定的経営・管理層	0.0	70.6	67.6	8.8	38.2	5.9	0.0	52.9	76.5	20.6	44.1	0.0		
		不安定経営・管理層	12.5	50.0	72.5	15.0	35.0	5.0	7.5	55.0	72.5	12.5	37.5	10.0		
		自営業層	3.8	55.1	73.1	10.3	33.3	12.8	9.9	58.0	65.4	17.3	30.9	8.6		
		安定的労働者層	4.2	56.8	57.9	16.8	45.3	8.4	2.0	69.0	64.0	14.0	43.0	4.0		
		不安定労働者層	2.1	51.6	69.5	11.6	37.9	15.8	0.9	63.3	64.2	12.8	38.5	9.2		
		計	4.1	55.6	67.3	12.9	38.6	10.8	3.8	61.8	66.5	14.8	38.5	6.9		
	中 5	安定的経営・管理層	5.7	60.0	77.1	14.3	31.4	0.0	8.3	69.4	69.4	16.7	27.8	0.0		
		不安定経営・管理層	0.0	59.3	66.7	18.5	40.7	7.4	0.0	66.7	63.3	6.7	50.0	3.3		
		自営業層	4.0	59.6	75.8	8.1	35.4	8.1	4.8	65.4	78.8	11.5	28.8	3.8		
		安定的労働者層	3.6	47.3	63.6	20.0	39.1	12.7	2.6	55.7	65.2	17.4	48.7	1.7		
		不安定労働者層	5.9	59.4	69.3	6.9	30.7	13.9	1.7	61.5	71.8	14.5	33.3	7.7		
		計	4.3	55.9	69.9	12.6	35.2	10.2	3.2	61.9	70.9	14.2	37.3	4.0		
中 2	安定的経営・管理層	1.5	75.4	72.3	10.8	29.2	6.2	2.9	58.6	72.9	12.9	35.7	2.9			
	不安定経営・管理層	1.7	59.3	64.4	11.9	39.0	8.5	1.6	55.7	70.5	14.8	41.0	4.9			
	自営業層	1.9	51.6	69.8	10.7	42.8	9.4	2.9	56.1	72.5	13.5	35.1	5.8			
	安定的労働者層	0.6	54.3	71.6	19.8	32.1	10.5	2.4	58.8	65.9	17.6	41.8	3.5			
	不安定労働者層	4.6	60.9	66.9	14.6	31.8	6.6	1.1	62.9	72.0	18.3	25.1	6.9			
	計	2.2	58.1	69.3	14.3	35.2	8.6	2.2	58.9	70.5	15.9	34.8	5.1			

ける「成功」は学歴で決まるわけではないという一見して矛盾した考え方が、学歴社会観と子どもの教育に対する考え方との間にある食い違いを生み出すこともある。事実、表54のように、社会で成功するのに必要なものは何かという問いに、「学歴」と答えた者は、子どもの学年、男女問わず、父母ともに「家柄」、「有力者とのつながり」について少なく、10%台にとどまっている。むしろ、「努力」と答える父母がおよそ7割前後、「才能」が5割後半から6割、そして「運」が3割の後半となっている。そこには、社会での成功は「家柄」、「有力者とのつながり」、「学歴」ではなく、「努力」と「才能」、そして多少の「運」によってきまるという父母の考え方が見いだせる。この結果は、父母の6割が現在の社会は学歴重視の社会であると答えたのとは対照的である。しかも、こうした考え方は、いずれの階層にもほぼ共通しており、安定的経営・管理層の父に男女、いずれの学年でも「才能」をあげる者が全階層の中でもっとも多い点を除けば、階層間の違いは見られない。

こうした事実は、社会での「成功」についての考え方が多様であることに由来しているのかもしれないし、学歴社会といってもそれは「才能」と「努力」によって乗り越えられる程度のもので理解しているのかもしれない。また、社会で重視される学歴は、「才能」や「努力」の結果を表示する目安に他ならず、内容のない「学歴」それ自体が重視されているわけではないという考え方もありうる。しかし、いずれにしても、現在の社会を学歴社会と見なしていても、「社会での成功」にとって「学歴」が上げられることは少なく、これが子どもに対する教育の考え方と学歴社会観の食い違いの一因になっていると考えられる。

(3)家庭・学校・地域の役割分担に関する考え方

親の教育観と社会観の最後に、近年とくに注目されるようになった家庭・学校・地域の役割分担に関する考え方について、検討してみよう。

その際、「学力」、「体力」、「情操」、「生活習慣」、「やる気」、「遊ぶ態度」の6項目をとりあげ、それぞれを身につけるのにもっともふさわしいと思う場所を「学校」、「家庭」、「塾・習い事」、「地域」の中から1つ選択してもらった。その結果、第1に、「学力」、「生活習慣」、「やる気」、「遊ぶ態度」の4項目に関しては、学年、性別、階層の如何を問わず父母ともに同様な考え方を持っていることがわかる。

①「学力」を身につけるのにふさわしい場として、父母の9割以上が「学校」をあげている(表55)。「塾・習い事」に通っている子どもが少なくないにもかかわらず、「塾・習い事」をあげる者は皆無に近い。また、「家庭」や「地域」をあげる者もほとんどいない。それだけ、「学力」を身につけるといって「学校」に対する期待が強いということである。そのため、もし父母の期待にそった現実になっていない場合、学校に対する不満が増大する可能性も存在すると考えられる。

②「学力」とは対照的に「生活習慣」の場合、「家庭」をあげる父母が9割を超え、「学校」、「地域」、「塾・習い事」に期待する父母はいずれもほとんどいない(表56)。一般に、子どもの「生活習慣」についてまで学校に依存する親の問題が指摘されることがあるが、少なくともこのデータを見る限り、意識の上では、子どもの「生活習慣」の形成はもっぱら「家庭」によって担われるべきだという結果になっている。

③「やる気」になると、「学力」や「生活習慣」とは異なり、単一の場に集中することはない(表57)。父母の40%台後半が「学校」をあげると同時に、30%台が「家庭」をあげている。「塾・習い事」や「地域」をあげる父母はそれぞれ1割前後にとどまっており、いわば「学校」派と「家庭」派に二分される形になっている。ただし、学年、男女、階層によって「学校」派と「家庭」派の分布に大きな違いが見られるということではなく、この2つの考え方をもった父母の存在が全体に共通した特徴になっている。

④「やる気」と同様、「遊ぶ態度」も1つの場に集中する形をとらない(表58)。父母の6割前後が「学校」をあげ、3割台の前半が「地域」をあげている。「やる気」と比べると、「学校」にシフトした親の考えた方がみられるが、「学力」や「生活習慣」よりも単一の場への集中度は弱い。したがって、「やる気」を育てるのは「学校」がふさわしいとする父母が主流だが、「地域」の方がふさわしいとする者も無

表55 学力をつけるのにふさわしい場はどこか（複数回答）

単位：％

		父				母				
		学 校	家 庭	塾	地 域	学 校	家 庭	塾	地 域	
男	小	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		不安定経営・管理層	89.5	2.6	7.9	0.0	89.5	2.6	7.9	0.0
		自 営 業 層	95.1	1.2	3.7	0.0	92.0	2.3	5.7	0.0
		安定的労働者層	93.8	2.7	3.5	0.0	90.8	3.4	5.0	0.8
		不安定労働者層	90.9	4.0	4.0	1.0	91.2	1.8	7.1	0.0
	計	93.4	2.5	3.9	0.3	91.8	2.3	5.7	0.3	
	5	安定的経営・管理層	92.3	2.6	5.1	0.0	89.7	2.6	7.7	0.0
		不安定経営・管理層	84.6	0.0	13.5	1.9	82.1	1.8	17.9	0.0
		自 営 業 層	86.0	2.2	11.8	0.0	90.8	2.0	7.1	0.0
		安定的労働者層	94.7	3.5	1.8	0.0	95.8	2.5	1.7	0.0
		不安定労働者層	95.1	0.0	4.9	0.0	94.2	1.4	5.1	0.0
	計	91.4	1.7	6.7	0.2	92.0	2.0	6.4	0.0	
	中	安定的経営・管理層	96.1	1.3	2.6	0.0	96.1	1.3	2.6	0.0
		不安定経営・管理層	93.3	1.7	5.0	0.0	85.9	0.0	14.1	0.0
		自 営 業 層	89.1	4.8	6.1	0.0	90.7	3.7	6.2	0.0
安定的労働者層		96.6	0.6	2.9	0.0	97.3	0.5	2.2	0.0	
不安定労働者層		92.2	1.3	6.5	0.6	89.0	2.3	8.1	0.6	
計	93.2	2.1	4.8	0.2	92.3	1.8	5.9	0.2		
女	小	安定的経営・管理層	93.9	0.0	6.1	0.0	90.9	0.0	12.1	0.0
		不安定経営・管理層	92.5	0.0	7.5	0.0	92.3	0.0	7.7	0.0
		自 営 業 層	90.0	3.8	6.3	0.0	86.6	3.7	9.8	0.0
		安定的労働者層	95.9	1.0	3.1	0.0	91.9	0.0	8.1	0.0
		不安定労働者層	93.7	3.2	2.1	1.1	93.5	2.8	4.7	0.0
	計	93.3	2.0	4.3	0.3	91.1	1.7	7.8	0.0	
	5	安定的経営・管理層	91.9	5.4	2.7	0.0	91.9	2.7	5.4	0.0
		不安定経営・管理層	89.7	3.4	6.9	0.0	80.0	6.7	13.3	0.0
		自 営 業 層	91.0	3.0	6.0	0.0	89.2	3.9	6.9	0.0
		安定的労働者層	91.0	1.8	7.2	0.0	92.3	1.7	6.8	0.0
		不安定労働者層	95.0	1.0	4.0	0.0	93.0	0.0	7.0	0.0
	計	92.0	2.4	5.6	0.0	90.8	2.2	7.2	0.0	
	中	安定的経営・管理層	95.5	3.0	1.5	0.0	97.2	2.8	0.0	0.0
		不安定経営・管理層	98.3	0.0	0.0	1.7	96.7	0.0	3.3	0.0
		自 営 業 層	93.1	1.3	5.6	0.0	95.2	1.2	4.2	0.6
安定的労働者層		95.8	1.2	3.0	0.0	94.8	1.1	4.6	0.0	
不安定労働者層		92.3	2.6	5.8	0.0	91.9	1.2	7.5	0.0	
計	94.4	1.7	4.0	0.2	94.6	1.2	4.6	0.2		

表56 生活習慣をつけるのにふさわしい場はどこか（複数回答）

単位：％

		父				母							
		学	校	家	庭	塾	地	域	学	校	家	庭	塾
男	小	安定的経営・管理層	9.4	90.6	0.0	0.0	6.3	93.8	0.0	0.0			
		不安定経営・管理層	5.3	94.7	0.0	0.0	2.6	97.4	0.0	0.0			
		自営業層	11.1	87.7	0.0	1.2	6.9	92.0	0.0	1.1			
		安定的労働者層	6.3	92.0	0.9	0.9	6.7	92.4	0.0	0.8			
		不安定労働者層	7.1	92.9	0.0	0.0	3.6	96.4	0.0	0.0			
		計	7.7	91.4	0.3	0.6	5.4	94.1	0.0	0.5			
	5	安定的経営・管理層	7.7	92.3	0.0	0.0	2.6	97.4	0.0	0.0			
		不安定経営・管理層	1.9	98.1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0			
		自営業層	4.3	90.3	0.0	5.4	2.1	92.8	0.0	5.2			
		安定的労働者層	0.9	96.5	0.0	2.6	0.8	97.5	0.0	1.7			
		不安定労働者層	8.1	91.1	0.0	0.8	4.4	95.6	0.0	0.0			
		計	4.5	93.3	0.0	2.1	2.2	96.2	0.0	1.6			
	2	安定的経営・管理層	0.0	100.0	0.0	0.0	1.3	98.7	0.0	0.0			
		不安定経営・管理層	1.7	96.6	0.0	1.7	0.0	98.4	0.0	1.6			
		自営業層	9.8	89.6	0.0	0.6	5.6	94.4	0.0	0.0			
		安定的労働者層	8.0	90.9	1.1	0.0	4.3	95.1	0.5	0.0			
		不安定労働者層	10.4	89.6	0.0	0.6	8.1	91.3	0.0	0.6			
		計	7.5	91.9	0.3	0.5	4.8	94.7	0.2	0.3			
3	安定的経営・管理層	9.1	93.9	0.0	0.0	9.1	93.9	0.0	0.0				
	不安定経営・管理層	10.0	92.5	0.0	0.0	2.6	94.9	0.0	2.6				
	自営業層	6.3	93.8	0.0	0.0	4.9	95.1	0.0	0.0				
	安定的労働者層	5.2	93.8	0.0	1.0	4.0	94.9	0.0	1.0				
	不安定労働者層	6.3	91.6	0.0	2.1	5.6	93.5	0.0	0.9				
	計	6.7	93.0	0.0	0.9	5.0	94.5	0.0	0.8				
5	安定的経営・管理層	2.7	97.3	0.0	0.0	2.7	97.3	0.0	0.0				
	不安定経営・管理層	7.1	92.9	0.0	0.0	3.4	96.6	0.0	0.0				
	自営業層	4.0	96.0	0.0	0.0	3.8	96.2	0.0	0.0				
	安定的労働者層	4.5	93.7	1.8	0.0	3.4	95.7	0.9	0.0				
	不安定労働者層	7.0	94.0	0.0	0.0	6.1	93.0	0.9	0.9				
	計	5.0	94.7	0.5	0.0	4.2	95.3	0.5	0.2				
2	安定的経営・管理層	6.0	94.0	0.0	0.0	4.2	95.8	0.0	0.0				
	不安定経営・管理層	3.5	91.2	1.8	3.5	3.3	91.7	1.7	3.3				
	自営業層	10.0	90.0	0.0	0.6	6.5	93.5	0.0	0.0				
	安定的労働者層	10.9	87.3	1.2	0.6	6.9	90.8	0.6	1.7				
	不安定労働者層	7.7	91.0	0.6	1.3	6.9	91.9	0.6	1.7				
	計	8.6	90.1	0.7	1.0	6.2	92.4	0.5	1.2				

表57 やる気を育てるのにふさわしい場はどこか（複数回答）

単位：％

		父				母				
		学 校	家 庭	塾	地 域	学 校	家 庭	塾	地 域	
男	小 3	安定的経営・管理層	46.9	34.4	9.4	9.4	56.3	34.4	6.3	3.1
		不安定経営・管理層	44.7	36.8	7.9	10.5	52.6	36.8	7.9	2.6
		自 営 業 層	58.8	27.5	10.0	3.8	43.5	36.5	11.8	9.4
		安定的労働者層	42.9	33.0	8.9	16.1	55.5	26.1	9.2	10.9
		不安定労働者層	41.4	35.4	7.1	17.2	40.7	35.4	10.6	13.3
		計	46.5	33.0	8.6	12.5	48.3	32.8	9.8	9.8
	小 5	安定的経営・管理層	41.0	43.6	7.7	7.7	43.6	43.6	10.3	2.6
		不安定経営・管理層	48.1	28.8	11.5	11.5	41.1	26.8	14.3	17.9
		自 営 業 層	51.6	30.1	9.7	10.8	48.5	30.9	10.3	11.3
		安定的労働者層	46.4	34.8	2.7	16.1	40.5	38.8	5.2	15.5
		不安定労働者層	49.2	34.4	2.5	13.9	47.8	36.0	8.1	8.8
		計	48.1	33.7	5.7	12.9	44.8	35.1	8.8	11.7
	中 2	安定的経営・管理層	49.3	42.7	1.3	6.7	48.1	33.8	7.8	10.4
		不安定経営・管理層	47.5	30.5	11.9	10.2	45.3	31.3	17.2	6.3
		自 営 業 層	41.6	35.5	11.4	12.0	42.9	33.7	13.5	11.0
安定的労働者層		48.9	33.9	8.6	8.6	52.2	29.9	9.2	8.7	
不安定労働者層		49.7	34.2	7.7	10.3	51.7	30.5	10.9	8.0	
計		47.1	35.1	8.6	9.9	48.6	31.6	11.3	9.1	
女	小 3	安定的経営・管理層	48.5	36.4	12.1	6.1	48.5	36.4	15.2	6.1
		不安定経営・管理層	42.5	45.0	2.5	15.0	45.0	52.5	5.0	2.5
		自 営 業 層	43.8	31.3	12.5	12.5	47.6	19.5	20.7	12.2
		安定的労働者層	44.8	41.7	9.4	4.2	42.3	35.1	11.3	11.3
		不安定労働者層	43.2	26.3	13.7	16.8	43.9	33.6	11.2	11.2
		計	44.2	34.9	10.8	11.0	44.8	33.1	13.1	10.0
	小 5	安定的経営・管理層	40.5	40.5	10.8	8.1	51.4	35.1	16.2	0.0
		不安定経営・管理層	44.8	34.5	17.2	3.4	50.0	30.0	20.0	0.0
		自 営 業 層	42.0	33.0	17.0	9.0	41.7	25.2	24.3	9.7
		安定的労働者層	52.3	30.6	5.4	12.6	54.8	27.0	9.6	8.7
		不安定労働者層	42.4	39.4	10.1	9.1	45.2	31.3	13.0	11.3
		計	45.2	34.8	11.2	9.6	48.0	28.8	15.8	8.3
中 2	安定的経営・管理層	47.0	39.4	10.6	3.0	45.1	32.4	14.1	8.5	
	不安定経営・管理層	45.6	38.6	5.3	10.5	47.5	37.3	5.1	10.2	
	自 営 業 層	45.6	37.5	10.0	8.1	43.4	36.1	12.7	9.0	
	安定的労働者層	46.1	35.8	8.5	9.7	49.7	34.7	9.8	6.9	
	不安定労働者層	43.6	36.5	10.3	10.3	49.1	31.8	13.3	6.9	
	計	45.4	37.1	9.3	8.8	47.2	34.3	11.5	7.9	

表58 遊ぶ態度を身につけるのにふさわしい場はどこか（複数回答）

単位：％

		父				母									
		学	校	家	庭	塾	地	域	学	校	家	庭	塾	地	域
男	小	3	安定的経営・管理層	56.3	6.3	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0	37.5				
		不安定経営・管理層	68.4	5.3	0.0	26.3	73.7	2.6	0.0	23.7					
		自営業層	59.3	4.9	0.0	35.8	55.2	11.5	1.1	33.3					
		安定的労働者層	63.4	9.8	0.0	27.7	66.4	7.6	0.0	27.7					
		不安定労働者層	64.6	6.1	0.0	29.3	57.5	6.2	0.0	36.3					
		計	62.7	6.9	0.0	30.7	60.7	8.0	0.3	31.9					
	5	安定的経営・管理層	66.7	10.3	0.0	23.1	69.2	10.3	0.0	20.5					
		不安定経営・管理層	75.0	1.9	0.0	23.1	72.7	0.0	0.0	29.1					
		自営業層	61.3	6.5	0.0	33.3	59.8	10.3	0.0	30.9					
		安定的労働者層	60.2	8.0	0.0	32.7	61.0	10.2	0.0	29.7					
		不安定労働者層	60.7	9.0	0.0	31.1	59.4	6.0	0.0	34.6					
		計	63.0	7.4	0.0	30.3	62.4	7.7	0.0	30.5					
	中	2	安定的経営・管理層	68.0	5.3	0.0	26.7	62.3	6.5	0.0	31.2				
		不安定経営・管理層	46.7	6.7	0.0	46.7	53.1	4.7	0.0	43.8					
		自営業層	60.0	9.1	0.6	30.9	56.8	8.0	0.0	35.8					
安定的労働者層		59.7	7.4	0.0	33.0	57.1	8.7	0.0	35.3						
不安定労働者層		62.7	7.8	0.0	30.7	59.5	10.4	0.0	30.1						
計		60.3	7.6	0.2	32.4	57.9	8.3	0.0	34.4						
女	小	3	安定的経営・管理層	51.5	12.1	0.0	39.4	54.5	9.1	0.0	39.4				
		不安定経営・管理層	70.0	12.5	0.0	20.0	71.8	12.8	0.0	17.9					
		自営業層	61.3	7.5	1.3	30.0	53.7	11.0	0.0	36.6					
		安定的労働者層	63.9	7.2	0.0	28.9	63.6	9.1	0.0	27.3					
		不安定労働者層	52.1	2.1	1.1	44.7	56.6	4.7	0.0	38.7					
		計	59.6	7.0	0.6	33.4	59.3	8.6	0.0	32.9					
	5	安定的経営・管理層	70.3	2.7	0.0	29.7	59.5	5.4	0.0	40.5					
		不安定経営・管理層	58.6	6.9	0.0	34.5	50.0	10.0	0.0	40.0					
		自営業層	56.0	10.0	0.0	35.0	60.2	9.7	0.0	32.0					
		安定的労働者層	55.9	9.9	0.0	34.2	59.5	8.6	0.0	31.9					
		不安定労働者層	60.6	15.2	0.0	25.3	59.1	13.0	0.0	28.7					
		計	58.8	10.4	0.0	31.6	58.9	10.0	0.0	32.4					
	中	2	安定的経営・管理層	57.6	4.5	0.0	37.9	55.7	2.9	0.0	41.4				
		不安定経営・管理層	61.4	5.3	0.0	33.3	65.0	3.3	0.0	31.7					
		自営業層	55.0	8.8	0.0	36.3	57.2	7.8	0.0	35.5					
安定的労働者層		58.2	10.9	0.0	30.9	58.0	9.8	0.0	32.2						
不安定労働者層		60.3	9.0	0.0	31.4	56.6	9.2	0.0	35.8						
計		58.1	8.6	0.0	33.4	57.9	7.8	0.0	35.0						

視できない程度に存在するということである。

第2に、「体力」については、子どもの性や学年によって異なっている（表59）。全体的に見ると、父母とも6～7割台が「学校」をあげ、「家庭」をあげている2～3割しかいない。しかし、小3の段階では、女の子をもつ父母の方が男子の父母より1割ほど学校をあげる者が多い。女子の父母はともに68.0%が学校を選んでいるのに対し、男子の父母はそれぞれ57.9%、58.9%になっている。そこには、明らかに子どもの性による違いが見いだせる。だが、男の子をもつ父母の場合、学年が上がるに従って、「学校」を選

表59 体力をつけるのにふさわしい場はどこか（複数回答）

単位：%

		父				母				
		学 校	家 庭	塾	地 域	学 校	家 庭	塾	地 域	
男	小	安定的経営・管理層	62.5	28.1	0.0	9.4	56.3	40.6	0.0	3.1
		不安定経営・管理層	57.9	28.9	0.0	13.2	55.3	36.8	2.6	5.3
		自 営 業 層	51.3	35.0	2.5	11.3	53.5	32.6	4.7	9.3
		安定的労働者層	58.9	32.1	4.5	4.5	61.3	32.8	2.5	4.2
		不安定労働者層	60.6	27.3	2.0	10.1	62.5	28.6	2.7	6.3
		計	57.9	30.7	2.5	8.9	58.9	32.6	2.8	5.9
	5	安定的経営・管理層	71.8	17.9	5.1	5.1	69.2	23.1	5.1	2.6
		不安定経営・管理層	67.3	21.2	1.9	9.6	57.1	33.9	1.8	7.1
		自 営 業 層	71.0	20.4	0.0	8.6	72.4	22.4	1.0	5.1
		安定的労働者層	60.2	30.1	2.7	7.1	58.6	27.6	6.0	7.8
		不安定労働者層	60.3	21.5	3.3	14.9	61.2	26.9	3.0	9.0
		計	64.6	23.2	2.4	9.8	63.2	26.6	3.4	7.0
	2	安定的経営・管理層	80.3	15.8	0.0	3.9	76.6	19.5	1.3	3.9
		不安定経営・管理層	71.2	16.9	3.4	8.5	69.2	20.0	3.1	9.2
		自 営 業 層	67.1	23.8	1.8	7.3	64.8	24.7	2.5	8.0
安定的労働者層		78.7	16.1	1.7	3.4	74.3	18.6	1.1	6.0	
不安定労働者層		80.5	13.0	1.9	5.2	82.1	12.7	1.7	3.5	
計		75.6	17.4	1.8	5.4	73.8	18.8	1.8	5.9	
女	小	安定的経営・管理層	54.5	36.4	3.0	9.1	57.6	24.2	6.1	15.2
		不安定経営・管理層	75.0	20.0	5.0	2.5	74.4	25.6	2.6	0.0
		自 営 業 層	68.8	21.3	5.0	5.0	72.0	15.9	7.3	4.9
		安定的労働者層	73.2	22.7	0.0	4.1	71.4	24.5	1.0	3.1
		不安定労働者層	63.8	28.7	2.1	5.3	62.6	29.0	2.8	5.6
		計	68.0	25.0	2.6	4.9	68.0	24.0	3.6	5.0
	5	安定的経営・管理層	61.1	27.8	0.0	11.1	62.2	35.1	0.0	2.7
		不安定経営・管理層	55.2	37.9	3.4	3.4	63.3	36.7	0.0	0.0
		自 営 業 層	67.7	24.2	1.0	8.1	70.6	23.5	2.0	4.9
		安定的労働者層	64.0	25.2	3.6	7.2	60.3	32.8	3.4	4.3
		不安定労働者層	65.7	26.3	0.0	9.1	66.1	23.5	0.0	10.4
		計	64.4	26.5	1.6	8.0	65.0	28.3	1.5	5.8
	2	安定的経営・管理層	69.7	25.8	0.0	4.5	67.1	27.1	0.0	5.7
		不安定経営・管理層	75.4	17.5	0.0	7.0	76.7	18.3	0.0	5.0
		自 営 業 層	71.5	21.5	1.3	5.7	73.5	19.3	1.8	6.6
安定的労働者層		72.6	21.3	0.0	7.3	74.1	21.3	0.6	4.0	
不安定労働者層		75.0	19.9	0.0	5.8	72.3	20.2	1.2	6.9	
計		72.9	21.1	0.3	6.2	72.9	20.8	0.9	5.8	

表60 情操を豊かにするのにふさわしい場はどこか (複数回答)

単位：%

		父				母				
		学 校	家 庭	塾	地 域	学 校	家 庭	塾	地 域	
男	小	安定的経営・管理層	9.7	58.1	0.0	32.3	3.1	59.4	3.1	34.4
		不安定経営・管理層	13.2	63.2	5.3	18.4	15.8	60.5	10.5	13.2
		自 営 業 層	20.3	58.2	5.1	16.5	19.8	54.7	4.7	20.9
		安定的労働者層	19.6	54.5	5.4	20.5	10.9	62.2	5.0	21.8
		不安定労働者層	10.2	74.5	2.0	14.3	8.9	71.4	0.0	20.5
		計	15.6	62.0	3.9	18.7	12.1	62.8	3.9	21.4
	5	安定的経営・管理層	17.9	69.2	0.0	12.8	12.8	71.8	0.0	15.4
		不安定経営・管理層	11.5	57.7	3.8	26.9	5.4	60.7	3.6	30.4
		自 営 業 層	18.3	49.5	3.2	30.1	11.2	51.0	9.2	29.6
		安定的労働者層	10.6	58.4	5.3	25.7	9.3	61.9	8.5	20.3
		不安定労働者層	20.5	52.5	2.5	24.6	15.8	54.9	6.0	23.3
		計	16.0	55.6	3.3	25.3	11.5	58.1	6.5	24.1
	2	安定的経営・管理層	12.0	72.0	2.7	13.3	6.5	70.1	7.8	15.6
		不安定経営・管理層	15.3	50.8	6.8	27.1	11.1	61.9	3.2	23.8
		自 営 業 層	19.0	49.7	1.2	30.7	16.9	50.0	3.8	30.0
安定的労働者層		16.7	59.2	2.3	23.6	10.9	59.6	5.5	24.6	
不安定労働者層		18.5	51.7	4.6	25.8	15.2	57.3	2.3	25.1	
計		17.0	55.6	3.1	25.1	13.0	58.1	4.3	24.9	
女	3	安定的経営・管理層	9.1	75.8	3.0	12.1	12.1	78.8	3.0	6.1
		不安定経営・管理層	26.8	43.9	2.4	29.3	28.2	48.7	0.0	25.6
		自 営 業 層	17.5	53.8	5.0	23.8	14.6	58.5	6.1	20.7
		安定的労働者層	15.5	55.7	6.2	22.7	11.1	61.6	5.1	22.2
		不安定労働者層	11.7	54.3	8.5	25.5	10.3	59.8	13.1	16.8
		計	15.7	55.4	5.8	23.5	13.6	60.6	6.9	19.2
	5	安定的経営・管理層	5.4	64.9	10.8	18.9	2.7	75.7	10.8	10.8
		不安定経営・管理層	24.1	58.6	0.0	17.2	13.3	70.0	3.3	13.3
		自 営 業 層	14.0	57.0	7.0	23.0	16.5	50.5	9.7	24.3
		安定的労働者層	10.8	59.5	8.1	22.5	10.4	63.5	7.0	19.1
		不安定労働者層	18.2	63.6	5.1	14.1	16.5	63.5	4.3	16.5
		計	14.1	60.4	6.6	19.7	13.3	61.8	7.0	18.5
2	安定的経営・管理層	10.6	66.7	6.1	16.7	11.4	68.6	7.1	12.9	
	不安定経営・管理層	12.5	60.7	0.0	26.8	13.6	61.0	1.7	23.7	
	自 営 業 層	10.1	49.1	8.2	34.6	7.2	49.1	9.0	36.5	
	安定的労働者層	18.2	47.9	2.4	31.5	14.0	49.4	4.7	32.6	
	不安定労働者層	19.4	51.6	5.8	23.9	19.7	52.6	5.8	23.7	
	計	15.0	52.4	5.0	28.3	13.4	53.4	6.1	28.2	

ぶ者が多くなる。父親で小3・57.9%→小5・64.6%→中2・75.6%、母親で小3・58.9%→小5・63.2%→中2・73.8%となり、小3に比べ中2では2割近く「学校」をあげる者が増えている。そして、それに反比例して、「家庭」をあげる父母が学年の上昇とともに増加している。その結果、中2になると、男女による差はほとんど見られなくなっている。ここから、小学校低学年では女子の「体力」の形成に関して男子よりも学校に期待する度合いが相対的に強いこと、しかし男子の父母の場合、学年の上昇にともなって「家庭」への期待が低下し「学校」への期待度が高まること、そのため中2段階では男女による違いは見られなくなることが明らかになる。いいかえれば、子どもの学年が小さくなればなるほど、「体力」形成の場を考えると、子どもの性別の違いが大きくなるといえる。

第3に、「情操」を豊かにする場に関しては、若干の階層的特徴が見いだせる(表60)。たしかに、子どもの性や学年の違いにかかわらず、全体として父母ともに5~6割が「情操」を豊かにするのにふさわしい場として「家庭」をあげ、「地域」をあげる者は2割、「学校」は1割しかない。その中で、階層別に見てみると、安定的経営・管理層の父母が他の階層と比べ「家庭」をあげる者が多くなっていることが特徴として浮かび上がる。実際、安定的経営・管理層のうち、小3の男子をもつ父母以外は、「家庭」をあげる者の割合が全階層中すべて最高の比率になっている。しかも、他の階層の父母がほぼ50%台であるのに対し、彼らの場合、60~80%弱に達し、「家庭」が「情操」を豊かにする場としてふさわしいと考える者が圧倒的に多くなっている。それだけ、安定的経営・管理層の父母に自らの「家族」が子どもの「情操」を形成する上で大きな力をもっているという自信が存在していると考えられる。

こうして、「体力」の形成に関して学校をふさわしいとする父母の割合が低学年で子どもの性によって異なる点、安定的経営・管理層の父母に、家族を「情操」の形成の場と考える傾向が強い点で、子どもの性や学年、親の階層による違いが見られた。しかし、それ以外の点では、子どもの性、学年、階層の違いは見られなかった。多くの父母が「学力」、「体力」はもっぱら学校、「生活習慣」、「情操」はもっぱら家庭で形成されるのがふさわしいと認識し、「やる気」を育てる場として学校と家庭が二分されていた。そして、「遊ぶ態度」は学校が主で地域がそれを補う場として認識されていた。その意味で、子育ての担い手に関しては、少なくとも理念や期待という点で、比較的共通した役割分担の考え方があることが明らかになる。

第2節 子どもとのコミュニケーション

親の教育観・社会観はたしかに、子どもに大きな影響を与える。しかし、それがどのように影響を与えるのかは、子どもとのコミュニケーションのあり方によっても大きく左右される。

表61と表62は、この点を検討するため、子どもとのコミュニケーションのあり方をまとめたものである。ここから、まず全体として母親の方が父親より子どもとコミュニケーションをとれていると考える者が多いこと、しかし男の子と「一緒に遊ぶ」ことと、男女の別なく「将来の話をする」ことだけは父親の方がコミュニケーションできていると答える者が多くなっていることがわかる。

これをふまえた上で、父親の子どもとのコミュニケーションについて、全体的に検討してみると、まず小学生段階では「一緒に遊ぶ」(ほぼ60%~80%)、「学校の話聞く」(ほぼ60%~70%)、「将来の話をする」(60%台後半)が上位3位で、その割合も比較的近い点に気づく。しかし、中学生段階になると「将来の話をする」が80%を超え上位1位の割合になる一方、「一緒に遊ぶ」(ほぼ40%)、「学校の話聞く」(50%台)と低下し、60%台の「夕食を一緒に食べる」と「テストの結果を見る」の水準を下回る。その結果、中2では「将来の話をする」が他の項目より飛び抜けて高く、それに「夕食を一緒に食べる」と「テストの結果を見る」が次ぐ形になる。しかも、こうした傾向は基本的にいずれの階層にもあてはまり階層差は見られない。ここから、父親と子どもとのコミュニケーションのあり方は、子どもが小学生から中学生になるにともなって大きく変化することが明らかになる。

しかし、各項目ごとにより詳しく見てみると、子どもの学年との関係によって各項目が大きく3つのグループに分けられる。

表61 子どもとのコミュニケーション(父)

単位：%

		勉強を みる	一緒に 遊ぶ	朝食を 一緒に 食べる	夕食を 一緒に 食べる	テスト の結果 をみる	テスト の日が わかる	学校の 話を聞 く	将来の 話をす る	
男	小 3	安定的経営・管理層	50.0	84.4	62.5	41.9	75.0	25.0	71.9	65.6
		不安定経営・管理層	28.2	64.1	51.3	35.9	53.8	2.6	61.5	52.6
		自営業層	47.6	86.7	47.6	69.0	53.1	4.9	67.9	54.3
		安定的労働者層	46.2	79.5	51.7	70.1	65.0	8.6	71.6	51.7
		不安定労働者層	46.9	78.8	57.0	71.0	56.0	11.0	73.0	58.0
		計	45.1	79.7	53.1	64.2	59.6	9.3	70.1	55.3
	小 5	安定的経営・管理層	46.2	71.8	46.2	43.6	48.7	5.1	61.5	53.8
		不安定経営・管理層	37.0	69.1	63.6	50.9	48.1	3.7	52.8	53.7
		自営業層	41.7	71.9	54.2	73.2	59.8	8.3	67.0	56.7
		安定的労働者層	42.5	79.1	59.6	68.4	63.2	4.4	67.6	46.4
		不安定労働者層	33.3	73.6	65.9	67.5	52.1	5.8	67.8	51.6
		計	39.3	73.9	59.5	64.8	56.0	5.7	65.1	51.9
中 2	安定的経営・管理層	35.6	51.4	56.8	52.7	67.6	30.7	57.3	68.0	
	不安定経営・管理層	9.5	43.5	62.9	58.1	66.7	27.4	48.4	73.3	
	自営業層	14.9	43.5	48.8	67.1	60.9	34.7	60.7	72.5	
	安定的労働者層	19.8	34.8	53.7	70.7	64.8	35.0	44.9	57.4	
	不安定労働者層	14.2	44.6	53.5	76.3	65.8	28.6	51.3	64.1	
	計	17.9	42.2	53.6	67.8	64.5	32.1	52.4	65.8	
女	小 3	安定的経営・管理層	61.8	78.8	58.8	50.0	55.9	2.9	70.6	44.1
		不安定経営・管理層	32.5	75.0	55.0	48.7	50.0	7.5	60.0	61.5
		自営業層	43.0	78.8	45.0	57.5	57.0	6.3	62.0	46.3
		安定的労働者層	58.6	81.8	66.3	60.8	68.4	7.2	76.8	51.5
		不安定労働者層	52.0	71.7	52.5	72.7	64.3	6.1	75.8	40.4
		計	50.6	77.2	55.6	61.0	61.3	6.3	70.7	47.6
	小 5	安定的経営・管理層	43.2	67.6	55.6	41.7	56.8	5.4	58.3	50.0
		不安定経営・管理層	37.9	60.7	69.0	41.4	75.0	10.3	51.7	46.4
		自営業層	50.5	68.0	44.7	68.9	59.8	4.9	66.0	51.5
		安定的労働者層	50.9	60.2	56.1	63.2	58.8	8.8	62.5	50.0
		不安定労働者層	32.3	63.3	59.6	65.0	61.0	7.0	59.6	46.0
		計	44.3	63.9	54.9	61.5	60.6	7.1	61.5	49.1
中 2	安定的経営・管理層	32.9	43.3	34.3	42.9	71.4	41.4	55.1	60.0	
	不安定経営・管理層	19.3	42.4	62.7	59.3	64.4	35.6	45.8	71.2	
	自営業層	19.1	39.5	50.6	67.5	61.7	29.2	59.0	64.2	
	安定的労働者層	30.2	45.2	50.9	65.7	68.6	36.1	58.0	63.3	
	不安定労働者層	15.6	36.3	55.0	72.0	59.6	29.2	52.2	57.8	
	計	22.8	40.9	51.1	64.6	64.4	33.1	55.3	62.5	

表62 子どもとのコミュニケーション（母）

単位：%

		勉強を みる	一緒に 遊ぶ	朝食を 一緒に 食べる	夕食を 一緒に 食べる	テスト の結果 をみる	テスト の日は わかる	学校の 話を聞 く	将来の 話をす る	
男	小 3	安定的経営・管理層	90.3	74.2	87.1	100.0	96.8	66.7	100.0	80.6
		不安定経営・管理層	87.2	56.4	64.1	94.9	100.0	69.2	97.4	67.6
		自営業層	87.5	66.3	77.0	94.3	96.6	54.0	95.4	67.8
		安定的労働者層	85.8	75.2	76.5	98.3	98.3	55.0	97.5	62.7
		不安定労働者層	92.0	76.1	78.9	95.5	96.4	52.7	97.3	60.7
	計	88.5	71.5	76.9	96.4	97.4	56.4	97.2	65.2	
	小 5	安定的経営・管理層	84.6	59.0	73.7	94.9	94.7	66.7	97.4	73.7
		不安定経営・管理層	81.5	57.4	73.2	96.4	91.1	46.4	92.9	70.4
		自営業層	75.0	61.5	73.2	90.7	99.0	47.4	95.9	68.8
		安定的労働者層	70.1	61.7	84.0	99.2	96.6	49.6	95.0	61.5
		不安定労働者層	74.3	64.4	75.4	95.7	97.1	47.1	97.1	64.7
	計	75.1	61.7	76.8	95.6	96.4	49.4	95.8	66.2	
中 2	安定的経営・管理層	35.1	29.6	73.7	92.1	92.0	92.1	94.7	85.5	
	不安定経営・管理層	20.3	28.8	71.4	95.2	95.3	85.9	93.8	79.4	
	自営業層	22.6	39.1	67.9	90.1	95.7	91.4	91.4	88.3	
	安定的労働者層	22.2	26.7	71.4	97.2	92.9	90.7	88.3	80.7	
	不安定労働者層	20.0	30.7	70.3	93.0	91.9	90.1	91.2	82.0	
計	23.0	31.4	70.5	93.6	93.5	90.4	91.1	83.3		
女	小 3	安定的経営・管理層	87.9	78.8	90.9	100.0	97.0	54.5	100.0	63.6
		不安定経営・管理層	87.8	73.2	65.9	92.7	100.0	53.7	97.6	70.7
		自営業層	92.7	76.5	74.4	92.7	100.0	57.3	95.1	65.9
		安定的労働者層	93.1	84.8	78.0	100.0	99.0	49.0	94.1	69.3
		不安定労働者層	85.6	71.8	72.1	97.3	99.1	54.1	97.3	63.6
	計	89.7	77.2	75.2	96.7	99.2	53.4	96.2	66.5	
	小 5	安定的経営・管理層	78.4	78.4	83.3	100.0	94.6	50.0	100.0	75.0
		不安定経営・管理層	82.8	65.5	76.7	93.3	96.7	63.3	96.7	75.9
		自営業層	71.2	68.6	80.0	93.3	92.3	49.0	95.2	70.2
		安定的労働者層	80.7	71.1	81.7	98.3	97.4	56.1	98.2	74.1
		不安定労働者層	74.4	62.6	63.6	97.4	93.2	52.5	97.5	61.9
	計	76.3	68.3	75.7	96.5	94.6	53.2	97.3	69.7	
中 2	安定的経営・管理層	33.8	38.2	64.3	95.7	93.0	92.9	95.8	88.7	
	不安定経営・管理層	29.5	59.0	75.4	95.1	91.8	93.4	100.0	91.8	
	自営業層	21.8	47.6	62.0	89.0	94.2	89.5	92.4	85.2	
	安定的労働者層	29.3	50.3	78.9	96.0	92.6	92.0	96.6	89.0	
	不安定労働者層	26.9	46.9	68.2	96.0	93.8	89.3	93.8	85.3	
計	27.2	48.2	69.7	94.0	93.3	90.8	95.0	87.3		

第1に、学年の上昇にともなって子どもとのコミュニケーションをとらない（とれない）者が多くなる項目がある。「勉強を見る」、「一緒に遊ぶ」、「学校の話聞く」がそれにあたる。「勉強を見る」は小3で45.1%（男）、50.6%（女）であったものが、小5で40%前後、中2で20%前後に減少する。「一緒に遊ぶ」は小3の80%弱が小5で73.9%（男）、63.9%（女）、中2で約40%にまで低下し、「学校の話聞く」では学年の上昇にともなって70%台→60%台→50%台へと変化する。もちろん、この3つの項目の変化は、それぞれ独自の理由が考えられる。たとえば、「勉強を見る」が減少するのは、勉強内容が高度化するからであり、「一緒に遊ぶ」の減少は親以外の遊び相手が拡大するからであろう。また、「学校の話聞く」が減少するのは、親の関心自体の低下や親子関係の問題など複雑な原因が考えられる。しかし、いずれにしても、この3つの項目を通した親子のコミュニケーションは、学年の上昇にともなって希薄化していくことは明らかである。

ただし、「勉強を見る」の場合、少なからぬ階層差が存在している。実際、小5女子以外のすべての学年・男女で安定的経営・管理層がもっとも高い割合を示し、安定的労働者層がそれに次ぐ位置を占めている。逆に、不安定経営・管理層と不安定労働者層が低い割合を示し、各学年・男女の最低の割合とそれに次ぐ割合のいずれかの位置をそれぞれが占めている。そこには、経営・管理層と一般労働者層の違いはあるものの、安定性のある大企業や公共部門に勤務している者と、中小零細企業に従事する者・非正規雇用者との間に大きな違いが見いだせる。その背後に、すでにみたように、両者の間にある父親自身の学歴の違いが存在することは明らかであろう。また、「学校の話聞く」でも、「勉強を見る」ほど明確ではないが、中2男以外の不安定経営・管理層がすべての階層の中でつねにもっとも低い数値を示しているという点も目につく。さらに、「一緒に遊ぶ」では小3男の不安定経営・管理層、中2男の安定的労働者層で他階層と比べた数値の高さが目立つものの、学年をこえた一貫した明確な階層差は見いだせない。

第2に、以上の3つの項目とは対照的に、学年の上昇とくに中学生への移行にともなって子どもとのコミュニケーションをとる者が多くなる項目がある。それは、「テストの日を知っている」と「将来の話をする」である。前者は男女の別なく、小学校段階では子どもの1割にも満たなかったものが、子どもが中学生になると、一気に30%を超えるという形で大きく変化している。ここには、小学生の時にはほとんど気かけなかった子どものテストの日が、中学生になると多少気にかかるようになっていくことが示されている。後者は小学生段階ですでに60%後半であった数値が、中2でさらに80%を超える水準に達している。小学生の時から、比較的多くの父親が子どもと将来の話をしているが、子どもが中学生になると、ほとんどの父親が将来の話めぐるコミュニケーションをとるようになっていく。それだけ、中学生になった自らの子どもの将来は父親にとっても大きな関心事であると考えられる。このうち、「テストの日を知っている」に関しては一貫した階層差は見いだせず、「将来の話をする」の場合にも、中2男以外での不安定労働者層の水準の相対的低さが目につくものの、それを除けば明確な階層的な特質は見いだせない。

第3に、「朝食を一緒に食べる」、「夕食を一緒に食べる」、「テストの結果を見る」のように、学年が違って子どもとのコミュニケーションのあり方に変化が見られない項目がある。「朝食を一緒に食べる」は学年・男女を問わずつねに50%台、「夕食を一緒に食べる」は60%台で、「テストの結果を見る」はほぼ60%前後になっている。前二者の結果は家族内の食生活のあり方が子どもの性や学年とそれほど関係がないことを示し、後者の結果は「学校の話」や「将来の話」とは異なって、同じ子どもの教育に関することであっても、どの学年の子どもでもつねに半数以上の父親が「テストの結果」を見ていることを示している。これを階層別に見ると、「朝食を一緒に食べる」と「テストの結果を見る」には、階層による差異は見いだせない。しかし、「夕食を一緒に食べる」に関しては、不安定労働者層の割合が高く、安定的経営・管理層と不安定経営・管理層の割合が低いという階層的な差異が見いだせる。不安定労働者層の場合、小5男女以外すべてで全階層中もっとも多くの父親が「夕食を一緒に食べる」と答え、逆に安定的経営・管理層と不安定経営・管理層には「夕食を一緒に食べる」と答えた父親が、学年、男女問わずつねに全階層中もっとも少ないかそれに次ぐ水準にとどまっている。それは、基本的には不安定労働者層と両経営・管理層の仕事の違いに由来していると考えられる。

一方、母親の子どもとのコミュニケーションについて、全体的に見てみると、父親とは異なり、学年、性別、階層の別なく、一貫して「テストの結果を見る」、「学校の話聞く」、「夕食を一緒に食べる」のいずれもが90%を超え上位3位になっている。この点で、母親の場合、父親よりも子どもとコミュニケーションしている者が多いだけでなく、子どもとのコミュニケーションの内容面でも父親より共通性が高いことがうかがえる。

しかし、各項目ごとにより詳しく見てみると、父親の場合と同様、子どもの学年との関係によって各項目が大きく3つのグループに分けられる。

第1に、「勉強を見る」、「一緒に遊ぶ」のように、学年の上昇にともなって子どもとのコミュニケーションをとらない（とれない）者が多くなる項目がある。「勉強を見る」は小3で約90%であったものが小5で70%半ば、中2で20%台に激減し、「一緒に遊ぶ」は小3の70%台が小5で60%台、中2で31.4%（男）、48.2%（女）にまで低下する。この2つの項目は、父親でも同じような変化を示している。しかし、「勉強を見る」に関しては減少の仕方が父親の場合以上に激しい点、中2段階で男の子と女の子では「一緒に遊ぶ」者の割合が20%弱も違っている点で、父親と異なる傾向が見られる。このうち、前者に関しては、中2段階の水準が父親とあまり変わらないことを考えると、学年が低い段階で父親よりずっと多くの母親が子どもの「勉強を見て」いたことの裏返しにすぎないといえる。しかし、「一緒に遊ぶ」ことに関して、男の子と女の子に対する母親の態度が異なる点に関しては、父親の場合には子どもの性別による違いがないことを考えると、より深く検討すべき問題が存在すると思われる。さらに、これを階層別に検討すると、「勉強を見る」については、父親ほど明確な階層差は見られないが、やはり母親の場合にも安定的経営・管理層の割合の相対的な高さが目につく。小3・小5の女を除いて、この層の母親が全階層中上位1位ないし2位で相対的に高い水準を示している。ただし、「一緒に遊ぶ」に関しては、父親と同様、一貫した明確な階層差は見られない。

第2に、この3つの項目とは対照的に、「テストの日を知っている」と「将来の話をする」に関しては、中学生への移行にともなって男女の別なく子どもとのコミュニケーションをとる者が多くなる。小学生の段階で「テストの日を知っている」母親はほぼ50%台であったが、子どもが中学生になると一気に90%に達する。「将来の話をする」母親はそれほど大きな変化ではないものの、小学生段階のほぼ50%の水準が60%台に上昇している。それぞれの水準は異なるが、中学生になってコミュニケーションする者が多くなるという点で、ここで見られた傾向は、父親と共通している。それだけ、中学生になると父母を問わず子どもの将来やそれに関わるテストに関心をより強くもつようになると考えられる。このうち、「テストの日を知っている」に関しては一貫した階層差は見いだせない。「将来の話をする」の場合、男の子ではどの学年でも安定的労働者層の割合が各階層中でもっとも低く、女の子ではどの学年でも不安定労働者層の割合がもっとも低いという特徴が見られるものの、各階層間の違いはそれほど大きくはない。したがって、この2つの項目に関しては、一貫した明確な階層差があるとは必ずしもいえない。

第3に、「朝食を一緒に食べる」、「夕食を一緒に食べる」、「テストの結果を見る」、「学校の話聞く」の場合、学年が違って子どもとのコミュニケーションのあり方に変化が見られない。「朝食を一緒に食べる」は学年・男女を問わずほぼ70%台、「夕食を一緒に食べる」、「テストの結果を見る」、「学校の話聞く」は90%台になっている。このうち、「朝食を一緒に食べる」、「夕食を一緒に食べる」、「テストの結果を見る」は、その水準に大きな開きがあるものの、どの学年でも一定した割合を維持しているという点で父親と共通している。しかし、「学校の話聞く」だけは、父親の場合、学年の上昇にともなってその割合が低下しているため、異なる傾向になっている。これを階層別に見ると、「朝食を一緒に食べる」のうち、小3の男女で安定的経営・管理層の割合が他階層と比べ目立って高い点を除くと、いずれの項目に関しても、階層による差異は基本的に見いだせない。

こうして、①全般的に見ると父親より母親の方が子どもと頻繁にコミュニケーションしていること、②多くの者がコミュニケーションしている項目も父母によって異なっていること、③しかし、内容的に見ると、全学年を通じてコミュニケーションのあり方が変化しないものだけでなく、子どもとのコミュニケーションが弱くな

るものや強くなるものが存在し、「学校の話を書く」点を除くと、そのパターンはほとんど父母の間で似通っていること、④「一緒に遊ぶ」母親の場合を除くと、子どもの性別によるコミュニケーションの違いは父母ともほとんどみられないこと、⑤階層差に関しては、「勉強を見る」という点で父母とくに父親で明確な階層差が見られたが、それ以外には一貫した明確な階層的特徴は見いだされなかったことなどが明らかになった。

ところが、これらの諸特徴はあくまで父母それぞれの自己評価にもとづいたものである点に注意する必要がある。父母の多くが子どもとコミュニケーションしていると考えていても、子どもがそう思っていない場合もあるし、その逆もありうる。そこで、この点を大まかに明らかにするため、すでに見た子どもの認識と父母の認識を比較して見よう（ただし、質問形式が異なるので、厳密な比較ではない）。

まず、表63と表64から父母のパターンを大まかに比較すると、ほとんどの項目で親子の認識は、学年、男女、階層の別なく、父母ともにマイナスの方向にずれている。つまり、ほとんどの項目で親が子どもとコミュニケーションしていると思っても、子どもの方は必ずしもそう認識していないことを示している。逆に、子どもの認識としては父とコミュニケーションしていると思っても、親がそう思わない場合、いわばプラスのずれもありうるが、そうしたずれが大きい項目は父母ともに存在しない。しかも、各項目ごとのずれの大きさは異なっているものの、そのパターンはほとんど父母ともに同様になっている。したがって、親子の認識のずれは大まかにいって父母ともに同じような形を示しているといえる。

このうち、父親と子どもの認識のずれをより詳しく見てみると、「一緒に遊ぶ」、「学校の話を書く」で男女、学年問わず、-30%前後とマイナスのずれが大きい。その上、男女とも小5から「将来の話を書く」がマイナスのずれを増加させ、中2で-30%を超えるようになる。それ以外はほぼ+10%程度の範囲に収まっている形になっている。しかも、各項目のうち、学年の上昇にともなってマイナスのずれが大きくなる「将来の話をする」を除けば、中2の女子で「学校の話を書く」が小学校段階よりややマイナスのずれを増大させる点が目につく程度で、ほとんどの項目で男女とも学年の違いによる変化は見られない。こうして、父が子どもと遊んでいると思っているほど子どもは遊んでもらっていると考えておらず、「学校の話」や「将来の話」を聞いていると思っているほど、子どもは学校の話や将来の話をしてないと考えているのである。そこには、もっと一緒に遊んでほしい、もっと学校や将来の話聞いてほしいという子どもの潜在的な要求が隠されているという見方も成り立つ。

これを階層的に見ると、全体として安定的経営・管理層がいくつかの項目で特徴的な傾向を示している点が目につく。まず、「朝食を一緒に食べる」、「夕食を一緒に食べる」でほとんどプラスのずれを示している点で他の階層と大きく異なっている。中2の男子の朝食以外すべてでプラスのずれになっている。しかも、各学年、男女別に見てもその多くで各階層中もっともプラスのずれが大きくなっている。それは、父親が思っている以上に子どもは食事をともにしているという認識が各階層の中で相対的に強いことを意味している。また、「テストの結果」でも、安定的経営・管理層の場合、小3男子以外で各階層中もっともマイナスのずれが少ないかプラスのずれが多くなっている。つまり、この項目についても、「朝食」や「夕食」に似た特徴を示しているということである。とくに小5女子では、他の諸階層がすべてマイナスの中で、16.2%となっており、特異な傾向を見せている。さらに、男の子から「学校の話を書く」点でも、安定的経営・管理層は他の階層と比べユニークな特徴を示している。しかし、その特徴はすでに見た3つの項目とは反対で、男子のどの学年でも、マイナスのずれが各階層中もっとも大きくなっている。それだけ、親が思っているほど子どもは「学校の話」を聞いてもらえていないという認識が強いといえる。こうして、安定的経営・管理層の場合、食事を一緒に食べることや「テストの結果」を見るという点では、親の方が少な目に認識し、「学校の話を書く」という点では、子どもの方が少な目にとらえているということになる。いいかえれば、それは、子どもの立場から見れば、食事や「テストの結果」を見るという点では父親は十分にコミュニケーションしてくれているが、「学校の話を書いてくれる」という点では物足りないと考えていると見なすこともできる。いずれにしても、こうした親子の認識のずれにこの階層の父子関係の階層的特徴があると考えられる。

表63 親子のコミュニケーションに関する認識のずれ（父と子）

単位：%

		勉強を みる	一緒に 遊ぶ	朝食を 一緒に 食べる	夕食を 一緒に 食べる	テスト 結果を 見る	学校の 話を聞 く	将来の 話をす る	
男	小 3	安定的経営・管理層	-3.1	-21.9	9.4	8.1	-9.4	-28.1	-14.0
		不安定経営・管理層	0.7	-19.4	-3.9	3.6	-10.6	-21.0	0.0
		自営業層	-6.2	-32.0	4.1	-3.9	-0.8	-19.0	-6.1
		安定的労働者層	0.0	-24.3	2.5	4.0	-4.5	-11.4	-5.2
		不安定労働者層	-9.3	-29.3	-8.9	-7.4	-6.0	-27.1	-6.6
		計	-4.1	-26.6	-0.4	-0.6	-5.2	-19.8	-6.0
	小 5	安定的経営・管理層	-9.4	-34.0	7.6	7.7	-1.3	-38.4	-23.0
		不安定経営・管理層	-3.1	-24.7	0.0	9.8	-8.1	-9.9	-19.8
		自営業層	-9.0	-33.9	-10.4	-5.2	-14.0	-19.6	-20.0
		安定的労働者層	8.8	-36.5	-3.2	2.8	-7.7	-24.4	-12.8
		不安定労働者層	-4.0	-27.3	-10.6	-9.3	-13.1	-29.0	-16.6
		計	-2.3	-31.3	-5.5	-1.4	-10.3	-24.2	-17.4
	中 2	安定的経営・管理層	-1.8	-40.6	-6.8	3.1	-2.7	-38.9	-36.4
		不安定経営・管理層	4.3	-26.3	-15.2	-0.3	-8.2	-17.6	-31.8
		自営業層	3.8	-31.0	-9.8	-11.3	-10.0	-32.8	-39.9
安定的労働者層		-2.9	-23.6	-6.2	-5.9	-6.9	-15.0	-27.7	
不安定労働者層		5.4	-34.7	-12.6	-17.6	-10.7	-21.5	-26.9	
	計	1.8	-30.4	-9.7	-8.6	-8.3	-24.3	-32.0	
女	小 3	安定的経営・管理層	-8.9	-25.9	8.8	4.5	2.9	-11.8	8.8
		不安定経営・管理層	0.0	-35.0	-1.3	7.4	-7.5	-13.7	-12.7
		自営業層	-5.2	-37.0	-6.2	10.0	-1.3	-13.9	0.0
		安定的労働者層	-6.1	-33.3	-6.3	4.5	-7.2	-21.8	-14.1
		不安定労働者層	-15.2	-34.9	-6.0	-8.4	-13.4	-22.2	-7.1
		計	-8.3	-34.3	-4.4	2.5	-6.8	-18.2	-6.8
	小 5	安定的経営・管理層	19.0	-20.4	6.6	13.9	16.2	-9.7	-17.6
		不安定経営・管理層	-2.2	-32.1	-5.7	1.9	-21.7	-20.7	-26.4
		自営業層	-4.3	-36.4	-0.5	2.9	-6.5	-23.1	-15.3
		安定的労働者層	2.1	-29.8	-2.7	4.9	-2.4	-21.6	-17.3
		不安定労働者層	4.4	-35.9	-10.4	-4.3	-15.2	-19.6	-24.0
		計	1.8	-32.7	-3.5	2.4	-6.8	-20.4	-19.6
	中 2	安定的経営・管理層	7.9	-29.0	2.3	3.6	-4.3	-28.3	-30.0
		不安定経営・管理層	10.2	-30.7	-3.7	4.0	-11.9	-20.8	-42.9
		自営業層	3.4	-28.2	-11.5	-4.1	-12.0	-32.7	-33.0
安定的労働者層		-0.3	-33.4	-7.3	-1.5	-13.0	-32.6	-33.2	
不安定労働者層		6.6	-28.0	-6.4	-12.0	-11.3	-27.6	-33.7	
	計	4.2	-29.9	-6.7	-3.8	-11.4	-29.8	-33.9	

注) ここでの数値は、親子のコミュニケーションのあり方に関する各項目についての子どもの評価と親自身の評価の差（子の評価－親の評価）を示している。

表64 親子のコミュニケーションに関する認識のずれ(母と子)

単位：%

		勉強を みる	一緒に 遊ぶ	朝食を 一緒に 食べる	夕食を 一緒に 食べる	テスト 結果を 見る	学校の 話を聞 く	将来の 話をす る	
男	小 3	安定的経営・管理層	6.6	-30.4	0.4	0.0	3.2	0.0	-6.4
		不安定経営・管理層	2.3	-32.7	-0.9	-2.8	-2.7	-8.2	-1.8
		自営業層	3.3	-22.1	-4.6	-3.6	1.1	0.1	6.3
		安定的労働者層	7.4	-30.4	5.7	0.0	-0.9	-5.1	4.8
		不安定労働者層	0.7	-29.4	-3.0	-1.0	-1.9	-8.1	4.2
		計	3.9	-28.5	-0.1	-1.4	-0.6	-4.7	3.4
	小 5	安定的経営・管理層	-3.0	-37.4	-4.5	-2.6	-2.6	-5.1	-19.9
		不安定経営・管理層	-8.3	-25.9	8.6	-1.8	1.6	-7.2	-18.6
		自営業層	-8.7	-36.5	-6.5	-4.1	-3.2	-15.9	-15.7
		安定的労働者層	5.5	-31.3	-3.7	-3.4	-5.8	-14.5	-16.7
		不安定労働者層	1.4	-29.8	-1.6	-4.9	-4.2	-11.5	-11.1
		計	-1.3	-31.7	-2.2	-3.8	-3.5	-12.1	-15.2
	中 2	安定的経営・管理層	-3.9	-25.5	-11.9	-3.8	2.8	-35.5	-35.5
		不安定経営・管理層	1.2	-24.1	-12.9	-13.9	-3.0	-21.5	-24.0
		自営業層	0.8	-33.7	-17.9	-13.4	-15.4	-33.3	-41.8
安定的労働者層		-2.5	-21.1	-10.7	-8.7	-3.8	-27.4	-36.9	
不安定労働者層		13.0	-24.9	-10.6	-10.3	-7.6	-30.0	-30.9	
計		2.6	-26.1	-12.9	-10.4	-7.0	-29.9	-35.1	
女	小 3	安定的経営・管理層	6.2	-22.9	-2.7	0.0	-2.9	0.0	15.8
		不安定経営・管理層	-2.8	-28.2	0.0	2.4	0.0	0.0	4.9
		自営業層	-2.5	-33.5	-4.4	-0.2	-2.5	-0.2	11.6
		安定的労働者層	-1.0	-39.3	-5.0	-4.1	-2.1	2.9	6.5
		不安定労働者層	0.4	-25.3	-2.8	-3.5	-5.3	-6.2	5.7
		計	-0.5	-31.0	-3.4	-1.9	-3.1	-1.1	8.0
	小 5	安定的経営・管理層	0.0	-28.4	5.9	-2.8	-2.7	-13.5	-15.5
		不安定経営・管理層	-7.8	-22.6	-16.7	-10.0	-3.4	-13.9	-5.9
		自営業層	-2.3	-38.1	-9.8	-3.0	2.0	-5.7	-7.3
		安定的労働者層	1.4	-35.4	-5.8	-4.3	-8.5	-9.5	-6.8
		不安定労働者層	6.4	-28.4	-1.9	-9.4	1.0	-8.3	1.7
		計	1.2	-32.5	-5.4	-5.7	-2.2	-8.9	-5.2
	中 2	安定的経営・管理層	8.5	-28.2	-6.6	-7.0	1.3	-14.1	-21.6
		不安定経営・管理層	4.9	-34.0	-8.2	-1.8	1.6	-8.3	-16.8
		自営業層	10.0	-33.3	-11.4	-4.7	-4.0	-12.4	-12.9
安定的労働者層		11.5	-32.1	-15.5	-5.8	2.1	-11.1	-23.7	
不安定労働者層		8.9	-33.2	-12.8	-8.0	-3.9	-9.4	-20.4	
計		9.4	-32.5	-12.1	-5.8	-1.3	-11.1	-19.1	

注) ここでの数値は、親子のコミュニケーションのあり方に関する各項目についての子ども
の評価と親自身の評価の差(子の評価-親の評価)を示している。

一方、母親と子どもの認識のずれを見ると、「一緒に遊ぶ」で男女、学年問わず、-30%前後とマイナスのずれが大きい。また、小3でプラスのずれを示していた「将来の話をする」が小5からマイナスのずれに転化し、中2の男で-35.1%、女で-19.1%にまで達するようになっている。さらに、中2の男子で「学校の話聞く」のマイナスのずれが大きくなる。これらの点では、父親の場合とほぼ一致している。しかも、各項目のうち、「将来の話をする」や中2の男子で「学校の話聞く」がマイナスのずれを増大させる点を除けば、ほとんどの項目で男女とも学年の違いによる変化は見られず、この点でも、父親の場合とほぼ一致している。しかし、階層別に見ると、父親に見られた特徴は見いだせない。たしかに、特定の項目に関して特定の学年・男女で各階層間の差異が見られることもある。しかし、全体として一貫した明確な階層的な差異は見いだせない。その意味で、一貫した階層的な差異が存在しない点に母親の特徴があると考えられる。

こうして、親子のコミュニケーションに関する親子間の認識のずれは、①大まかにいって、父母ともに親が思っているほど子どもは親とコミュニケーションしているとは考えていないこと、②父母ともにとくに遊びや学校・将来の話をするという点でその傾向が強いこと、③しかも一部の項目を除けば、認識のずれ方は学年、男女問わず変わらないこと、④階層的な違いは父親と子どもの場合にのみ、安定的経営・管理層が特徴的な姿を示すという形で存在することなどが明らかになった。なお、これらの結果には、親子関係に潜む問題性を示唆している側面も存在しており、その意味でより深く検討する必要があるといえる。

第3節 父母の学歴期待と職業期待

父母の教育意識に関して、最後に、父母の子どもの将来に対する期待を、学歴期待と職業期待のあり方から検討してみよう。

まず、表65にもとづいて、父親の学歴期待を見てみると、男女とも学年による違いがほとんどない点に気づく。もっとも学年差の大きい男子に対する「大学」への期待でさえ、最低の小3と最高の中2の差は6%しかない。すでに見たように、学年の上昇にかかわらず教育アスピレーションの変化が見られなかった男の子自身の学歴志向と同様な傾向が、男子だけでなく女子に対する父親の学歴期待の中にも見いだせる。その意味で、ここで見た父親の学歴期待は受験競争の激化といわれる現実をストレートに反映したものとはいいがたい。

しかし、学歴期待の水準についてみると、明らかに男女差が存在する。たしかに、「中学」、「高校」までの学歴期待や短大以上（高等教育）の学歴期待には男女差はほとんどない。だが、高等教育の内容を見ると、男子の場合ほとんどが大学以上であるのに対し、女子では「短大」までの学歴期待も少なくない。大学以上の学歴期待は、男子でほぼ60%後半から70%、女子では40%前後、短大までの学歴期待は男子が最大の中2で2.2%、女子が20%台で、男女の間に大きな差が見られる。同じ高等教育への進学といっても男子は大学、女子は短大というよく知られた事実が、父親の学歴期待の場合にも存在することが確認できる。

さらに、父親の学歴期待には、明確な階層差も見られる。男子に対する高等教育への期待を見ると、すべての学年で安定的経営・管理層（85%前後）→不安定経営・管理層（70%～80%台）→安定的労働者層（60～70%台）→自営業層（60%～70%）→不安定労働者層（60%台）の順になっている。もっとも期待度の高い安定的経営・管理層ともっとも低い不安定労働者層の差はつねに20%前後に及んでいる。しかも、安定的経営・管理層の場合、他階層と比べ大学院まで期待する者の割合が格段に高い。学年の上昇によって、その割合は21.9%→18.4%→12.0%と低下するものの、他階層とは比較にならない高水準を維持している。逆に、「中学」、「高校」まででよいと考える父親の割合は、高い方の順位が特定の階層に固定されることはないが、安定的経営・管理層がもっとも少なく、これに不安定経営・管理層が続く形はどの学年でも一貫している。その意味で、父親の学歴期待には明確な階層差があり、その中で2つの経営・管理層、とりわけ安定的経営・管理層の学歴期待の高さが特徴的である。

これに対し、女子に対する高等教育への期待の場合、少なくとも小3の段階では明確な階層差は見られ

表65 父学歴期待

単位：%

		中 学 高 校	専 門 短 大	大 学 大 学 院	其 他	N	(再掲) 中+高 短~院					
		学 校	学 校 高 専									
男	小	安定的経営・管理層	0.0	3.1	3.1	0.0	65.6	21.9	6.3	32	3.1	87.5
		不安定経営・管理層	0.0	15.4	7.7	0.0	64.1	5.1	7.7	39	15.4	69.2
		自 営 業 層	0.0	17.1	20.7	0.0	59.8	1.2	1.2	82	17.1	61.0
		安定的労働者層	0.0	17.4	13.0	0.9	60.9	2.6	5.2	115	17.4	64.4
		不安定労働者層	1.0	15.5	20.6	1.0	50.5	8.2	3.1	97	16.5	59.7
		計	0.3	15.3	15.3	0.5	58.6	5.8	4.1	365	15.6	64.9
	5	安定的経営・管理層	0.0	7.9	5.3	0.0	65.8	18.4	2.6	38	7.9	84.2
		不安定経営・管理層	0.0	6.0	18.0	0.0	68.0	10.0	0.0	50	6.0	78.0
		自 営 業 層	0.0	18.5	8.7	0.0	63.0	7.6	2.2	92	18.5	70.6
		安定的労働者層	0.9	16.5	7.0	0.9	66.1	5.2	3.5	115	17.4	72.2
		不安定労働者層	0.0	16.0	14.3	1.7	58.0	5.9	4.2	119	16.0	65.6
		計	0.2	14.7	10.6	0.7	63.3	7.7	2.9	414	14.9	71.7
	中	安定的経営・管理層	0.0	2.7	12.0	0.0	73.3	12.0	0.0	75	2.7	85.3
		不安定経営・管理層	0.0	8.2	3.3	1.6	78.7	4.9	3.3	61	8.2	85.2
		自 営 業 層	0.0	16.6	14.1	3.7	58.3	2.5	4.9	163	16.6	64.5
		安定的労働者層	0.0	8.6	12.6	1.1	70.9	4.6	2.3	175	8.6	76.6
		不安定労働者層	0.0	19.6	17.6	3.3	54.2	3.3	2.0	153	19.6	60.8
		計	0.0	12.6	13.2	2.2	64.6	4.6	2.7	627	12.6	71.4
女	小	安定的経営・管理層	0.0	9.1	21.2	24.2	42.4	0.0	3.0	33	9.1	66.6
		不安定経営・管理層	0.0	12.5	15.0	17.5	42.5	5.0	7.5	40	12.5	65.0
		自 営 業 層	0.0	19.0	13.9	21.5	36.7	3.8	5.1	79	19.0	62.0
		安定的労働者層	0.0	9.4	14.6	20.8	50.0	0.0	5.2	96	9.4	70.8
		不安定労働者層	0.0	17.0	14.9	28.7	36.2	3.2	2.1	94	17.0	68.1
		計	0.0	14.0	15.2	23.1	41.5	2.3	4.4	342	14.0	66.9
	5	安定的経営・管理層	0.0	8.1	8.1	21.6	56.8	5.4	0.0	37	8.1	83.8
		不安定経営・管理層	0.0	10.7	21.4	17.9	42.9	3.6	3.6	28	10.7	64.4
		自 営 業 層	1.0	22.5	17.6	18.6	34.3	1.0	4.9	102	23.5	53.9
		安定的労働者層	0.9	8.8	21.2	27.4	40.7	0.9	0.0	113	9.7	69.0
		不安定労働者層	0.0	22.7	24.7	19.6	26.8	1.0	5.2	97	22.7	47.4
		計	0.5	16.2	19.9	21.8	37.1	1.6	2.9	377	16.7	60.5
中	安定的経営・管理層	0.0	1.5	10.6	18.2	60.6	7.6	1.5	66	1.5	86.4	
	不安定経営・管理層	0.0	13.8	13.8	32.8	34.5	3.4	1.7	58	13.8	70.7	
	自 営 業 層	0.0	19.5	19.5	23.3	31.4	1.9	4.4	159	19.5	56.6	
	安定的労働者層	0.6	9.6	22.9	24.1	38.0	1.8	3.0	166	10.2	63.9	
	不安定労働者層	0.0	24.3	24.3	17.8	31.6	0.7	2.0	152	24.3	50.1	
	計	0.2	15.5	20.1	22.5	36.8	2.3	2.8	601	15.7	61.6	

ない。期待度が最大の安定的労働者層（70.8%）と最低の自営業層（62.0%）の差は10%に満たない。しかし、小5・中2になると、期待度の高い順から安定的経営・管理層（80%台）→不安定経営・管理層ないし安定的労働者層（60～70%台）→自営業層（50%台）→不安定労働者層（50%前後）となり、男子に対する期待とほぼ同様な形になる。しかも、もっとも期待度の高い安定的経営・管理層ともっとも低い不安定労働者層の差は小5・中2ともほぼ36%に及んでいる。短大を除いた大学以上の期待に限定しても、この傾向に変わりはない。逆に、「中学」、「高校」まででよいと考える父親の割合を見ると、小3を含めたいずれの学年においても、期待度の高い順から不安定労働者層ないし自営業層→不安定経営・管理層→安定的労働者層→安定的経営・管理層となり、高等教育への期待とほぼ正反対の形になる。したがって、女子に対する高学歴の期待は高学年からはじめて明確な階層差が現れるが、低い学歴でもよいとする考え方はすでに小学校低学年の段階から明確な階層差をともなっていること、しかも、そうした階層差は男子に対する学歴期待に見られたものとほぼ同様な内実をもったものであることが明らかになる。

一方、母親の学歴期待を見ると、全体として父親と同様な傾向にあることがわかる（表66）。父親の場合と同様、男女とも学年による差は見られず、高等教育への期待のうち、女子が短大、男子が大学以上にシフトしている。

階層的な特徴も、父親の場合とはやや異なる点があるものの、基本的には同様な傾向が見られる。男子の場合、高等教育への学歴期待は、期待度の階層順は必ずしも固定されていないが、少なくとも小5・中2で安定的経営・管理層（82.1%・85.2%）がもっとも高く、その対極に不安定労働者層（64.2%・57.2%）が位置づく形になっている。安定的経営・管理層に大学院までの期待が相対的に多いことも父親の場合と共通している。しかも、女子に対する高等教育への期待も、学年を問わず安定的経営・管理層→安定的労働者層ないし不安定経営・管理層→自営業層→不安定労働者層の順に固定されている。さらに、「中学」、「高校」まででよいとする考え方を見ても、男女ともほぼどの学年でも不安定労働者層→自営業層→不安定経営・管理層ないし安定的労働者層→安定的経営・管理層の順になっている。それゆえ、母親の学歴期待に関する学年別、性別、階層別の特徴は父親の場合とほぼ共通している^(補注)と考えてよい。

（補注）すでに見た子どもたちの学歴志向はこうした父母の学歴期待をどれだけ反映しているのであろうか。この点をみるため、高等教育への志望や期待にしぼって、子どもの学歴志向・子どもが予想する父母の学歴期待と実際の父母の学歴期待のずれをまとめたものが表67である。この表を見ると、子どもの学歴志向と親の学歴期待とのずれのあり方は男女で大きく異なっていることが明らかになる。

男子の場合、小3の段階までは子どもの学歴志向と親の学歴期待とのずれ（差）はあまり存在していない。父の学歴期待との差は-8.5%、母との差は-7.6%程度である。しかし、小5になると、父母の学歴期待の方が本人の学歴志向を上回る方向でずれが拡大し、中2でもそれが維持されている（約-16%～-18%）。少なくとも、この段階では、親の方が子どもよりもずっと高学歴志向になっているのである。しかも、それはいずれの階層でもそれほど大きな違いなく見いだせる。小3の時点では安定的経営・管理層、不安定経営・管理層、安定的労働者層でとくに親子のずれがあったが、全体としてずれの拡大する小5・中2ではいずれの階層でもほぼ同じように親の親子のずれが大きくなっている。しかし、それは必ずしも子どもが親の学歴期待を知らないことによって生じているわけではない点に注意する必要がある。なぜなら、子どもの予想する父母の学歴期待は小5・中2の段階でも、父母の実際の学歴期待とそれほど大きなずれが見られないからである。もっとも大きな差でも1割を切り（中2の父=-9.2%）、それ以外は-5%にも達しない。したがって、親の学歴期待は知っていても、その期待にこたえるのではなく、むしろ期待を下回る形で子どもたちの学歴志向が形成されているといえる。こうした現実、時には、子どもに対する大きなプレッシャーになりうるものであり、その意味で、問題をはらんでいると考えられる。

これと対照的に、女子では小学校段階で大きかったずれが中2でむしろ縮小している。女子の場合、すでに小3の時点で本人の学歴志向が父母の学歴期待を比較的大きく下回る方向でずれが存在し、それは小5でも維持されている。しかし、中2になるとそのずれは-6%程度にまで縮小する（各階層の親子間のずれは学

表66 母学歴期待

単位：%

		中 学	高 校	専 門 学 校	短 大	大 学	大 学 院	そ の 他	N	(再掲) 中+高 短~院		
男	小	安定的経営・管理層	0.0	0.0	15.6	0.0	65.6	12.5	6.3	32	0.0	78.1
		不安定経営・管理層	0.0	5.1	10.3	2.6	74.4	2.6	5.1	39	5.1	79.6
		自 営 業 層	0.0	10.5	23.3	4.7	59.3	0.0	3.5	86	10.5	64.0
		安定的労働者層	0.0	14.3	25.2	0.0	52.1	4.2	4.2	119	14.3	56.3
		不安定労働者層	1.8	14.2	16.8	0.0	59.3	3.5	4.4	113	16.0	62.8
		計	0.5	11.3	20.1	1.3	59.1	3.6	4.4	389	11.8	64.0
	5	安定的経営・管理層	0.0	5.1	12.8	0.0	74.4	7.7	0.0	39	5.1	82.1
		不安定経営・管理層	0.0	7.4	11.1	0.0	70.4	1.9	9.3	54	7.4	72.3
		自 営 業 層	0.0	12.4	7.2	0.0	77.3	1.0	2.1	97	12.4	78.3
		安定的労働者層	0.8	10.2	16.1	0.8	68.6	2.5	0.8	118	11.0	71.9
		不安定労働者層	0.0	13.9	19.0	0.7	59.9	3.6	2.9	137	13.9	64.2
		計	0.2	11.0	14.2	0.4	68.5	2.9	2.7	445	11.2	71.8
	中	安定的経営・管理層	0.0	4.1	9.5	1.4	73.0	10.8	1.4	74	4.1	85.2
		不安定経営・管理層	0.0	7.7	6.2	1.5	78.5	4.6	1.5	65	7.7	84.6
		自 営 業 層	0.0	12.4	18.6	2.5	61.5	1.9	3.1	161	12.4	65.9
		安定的労働者層	0.0	5.5	24.6	2.2	65.0	2.2	0.5	183	5.5	69.4
		不安定労働者層	0.0	15.6	26.0	4.0	52.6	0.6	1.2	173	15.6	57.2
		計	0.0	9.9	20.0	2.6	63.1	2.9	1.5	656	9.9	68.6
女	小	安定的経営・管理層	0.0	5.9	20.6	29.4	41.2	2.9	0.0	34	5.9	73.5
		不安定経営・管理層	0.0	7.3	17.1	34.1	34.1	0.0	7.3	41	7.3	68.2
		自 営 業 層	0.0	14.6	18.3	32.9	30.5	1.2	3.7	82	14.6	64.6
		安定的労働者層	0.0	11.9	16.8	28.7	37.6	3.0	3.0	101	11.9	69.3
		不安定労働者層	0.0	13.3	29.5	28.6	29.5	1.0	1.0	105	13.3	59.1
		計	0.0	11.8	21.2	30.3	33.6	1.7	2.8	363	11.8	65.6
	5	安定的経営・管理層	0.0	5.4	16.2	29.7	45.9	5.4	2.7	37	5.4	81.0
		不安定経営・管理層	0.0	6.9	24.1	17.2	44.8	3.4	3.4	29	6.9	65.4
		自 営 業 層	0.0	11.4	25.7	26.7	35.2	0.0	1.9	105	11.4	61.9
		安定的労働者層	0.0	5.1	31.6	31.6	29.9	0.9	0.9	117	5.1	62.4
		不安定労働者層	0.0	17.4	34.8	22.6	24.3	0.0	1.7	115	17.4	46.9
		計	0.0	10.4	29.0	26.6	32.3	1.0	1.7	403	10.4	59.9
	中	安定的経営・管理層	0.0	5.7	15.7	8.6	60.0	8.6	1.4	70	5.7	77.2
		不安定経営・管理層	0.0	11.5	26.2	31.1	29.5	1.6	0.0	61	11.5	62.2
		自 営 業 層	0.0	16.6	23.1	25.4	30.2	1.2	3.6	169	16.6	56.8
		安定的労働者層	0.0	8.0	24.7	24.1	39.7	2.9	1.1	174	8.0	66.7
		不安定労働者層	0.0	20.0	27.4	24.0	27.4	1.1	0.6	175	20.0	52.5
		計	0.0	13.6	24.2	23.4	35.1	2.5	1.5	649	13.6	61.0

表67 高等教育志望率・学歴期待予想と父母の学歴期待のずれ

		志向と 父期待 の差	志向と 母期待 の差	予想と 父期待 の差	予想と 母期待 の差	
男	小 3	安定的経営・管理層	-20.9	-11.5	-	-
		不安定経営・管理層	-19.2	-29.6	-	-
		自営業層	-3.8	-6.8	-	-
		安定的労働者層	-13.5	-5.4	-	-
		不安定労働者層	1.4	-1.7	-	-
		計	-8.5	-7.6	-	-
	小 5	安定的経営・管理層	-20.1	-18.0	-2.6	-9.9
		不安定経営・管理層	-16.2	-10.5	-6.3	7.7
		自営業層	-15.5	-23.2	-5.7	-11.5
		安定的労働者層	-11.5	-11.2	-1.7	-1.6
		不安定労働者層	-19.9	-18.5	1.7	6.4
		計	-16.5	-16.6	-2.2	-1.0
	中 2	安定的経営・管理層	-12.6	-12.5	-7.4	-5.0
		不安定経営・管理層	-14.4	-13.8	-4.2	-7.1
		自営業層	-16.9	-18.3	-12.7	-6.5
安定的労働者層		-22.8	-15.6	-8.0	-1.0	
不安定労働者層		-20.1	-16.5	-9.6	-4.2	
計		-18.8	-16.0	-9.2	-4.4	
女	小 3	安定的経営・管理層	6.1	-0.8	-	-
		不安定経営・管理層	-16.3	-19.5	-	-
		自営業層	-2.3	-4.9	-	-
		安定的労働者層	-18.3	-16.8	-	-
		不安定労働者層	-18.6	-9.6	-	-
		計	-12.3	-11.0	-	-
	小 5	安定的経営・管理層	-24.4	-21.6	-6.7	-6.6
		不安定経営・管理層	-11.1	-12.1	-2.4	-4.6
		自営業層	-9.7	-17.7	-0.4	-5.3
		安定的労働者層	-17.7	-11.1	-12.6	-4.6
		不安定労働者層	-5.9	-5.4	-2.1	4.0
		計	-13.0	-12.4	-5.3	-2.8
中 2	安定的経営・管理層	-8.9	0.3	-12.1	-1.4	
	不安定経営・管理層	-11.7	-3.2	-4.1	6.1	
	自営業層	-5.5	-5.7	-4.8	-4.5	
	安定的労働者層	-2.4	-5.2	-2.8	-2.1	
	不安定労働者層	-7.9	-10.3	-4.2	-7.0	
	計	-6.6	-6.0	-4.8	-3.3	

注) 1.単位=%

2.ここでの数値は、親の学歴期待、子どもの学歴志向、子どもが予想した親の学歴期待のうちそれぞれ短大以上のものを対象とした、子どもの学歴志向-父母の学歴期待、および子どもの予想する父母の学歴期待-父母の学歴期待を示している。

年ごとにまちまちで一貫した傾向は見いだせない)。親の学歴期待と本人が予想する親の学歴期待が小5、中2ともそれほど食い違っていない点を考えると、中学生になった時点で親子の考え方が全体として一致する傾向になると考えられる。

以上のように、子どもの学歴志向と親の学歴期待のずれのあり方は、男女の間に大きな違いがあり、中学生の時点で、親の意見の食い違いという点で、男子の方が女子よりも大きな問題を抱えていることが明らかになる。

こうした、父母の共通性は、子どもに対する職業期待の場合にも基本的にあてはまる。まず、父親の職業期待を見ると、全体として多様なものに分散化している(表68)。その中で、男子の場合、公務事務(10%~20%)、管理的職業(10%前後)がいずれの学年とも上位1、2位を占め、小3で教員(8.0%)、保安的職業(7.7%)、小5・中2で商業自営(9.2%・8.7%)、教員(7.1%・7.2%)がそれに次ぐ形になっている。これに対し、女子の場合には、すべての学年で公務事務(17.8%、16.3%、17.4%——順に小3・小5・中2)、教員(12.7%、10.5%、9.8%)、一般事務(9.6%、8.5%、14.1%)、保母(7.8%、10.2%、9.8%)の順になっている。男女の区別なく、子どもに期待する職業として、公務事務がもっとも多くの父親から選ばれ、それに次いで教員も男女共通して期待される職業として選択されている。その一方で、男の子に対して固有に期待される職業として、管理的職業、商業自営、保安的職業、女の子に固有の職業として一般事務、保母があげられている。そこには、明らかに期待する職業に男女差の論理が含まれている。

これを階層別に見ると、男子に対しては、安定的経営・管理層と不安定経営・管理層の場合、管理的職業を期待する割合がほぼ20%~30%台で、他の諸階層がほとんど10%未満であるのと比べ格段に高くなっている。経営・管理層として管理的な仕事をしている父親が男の子に対して、自らと同じ職業を期待する形になっている。これと同様に、公務員が含まれている安定的労働者層は各階層の中でいずれの学年でもつねに公務事務への期待がもっとも高く、とくに中2ではその水準が30.4%に達している。さらに、自営業層では公務事務と同時に、他の階層と比べ商業自営を期待する割合が高くなっている。不安定労働者層では公務事務が多いものの、全体としては分散化の傾向にある。したがって、不安定労働者層を除けば、父親の男の子に対する職業期待には、自らの職業や社会的立場に共通した職業を期待する傾向が一定程度存在することが明らかになる。いわば職業的地位ないし階層的地位の世代的再生産を望む傾向が存在するといってもよい。しかし、女の子に対する職業期待に関しては、男の子に対する職業期待ほど大きな階層差は見られない。いずれの階層も公務事務、教員、一般事務、保母といった職業が多く、全体の傾向と似ている。その中で、目につくのは、安定的経営・管理層や不安定経営・管理層で教員が他階層と比べ多くなっている程度である。したがって、父親の職業期待は男子に対しては階層差が比較的明確であるのに対し、女子に対しては階層差があまり見られないということが明らかになる。

次に、母親の職業期待を見ると、父親と同様、全体として多様なものに分散化している(表69)。しかも、男の子の場合、期待度の高い職業は順位に多少違いがあるものの、あまり変わらない。しかし、女子に対する期待には比較的大きな違いが見られる。事実、父親の場合、一貫して公務事務が女子に期待する職業のトップであったが、母親の場合、少なくとも小3・小5までは公務事務は第3位で、むしろ保母、看護婦が上位1、2位を占めている。そして、この段階では、教員が第4位の位置を占めている。そのため、父親ではつねに第3位であった一般事務は、いずれの学年でも4位以内には入っていない。中2になると、たしかに公務事務が1位になるものの、2位~4位は教員、保母、看護婦で基本的な志向性には変わりはない。つまり、この段階では保母、看護婦、教員といった女性向けの専門職への志向が強いということである。それは、父親には見られなかった母親特有の特徴であるといえる。

階層別に見ると、父親と同様、男子に対して安定的経営・管理層と不安定経営・管理層が管理的職業を期待することが多い。しかし、それ以外の階層は父親の場合と比べ、それほど大きな階層差はない。女子に対する期待に関しては、父親と同様、安定的経営・管理層に教員を望む母親が多い。それ以外は各階層

表8 子どもに希望する職業(父) (主要なもの)

単位：%

		商業 自営	一般 事務	公務 事務	美容師	看護婦	保育士	保安職	教員	医師	管理職	弁護士	芸能家	N		
男	小	安定的経営・管理層	3.6	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	3.6	25.0	10.7	3.6	28	
		不安定経営・管理層	5.3	2.6	7.9	0.0	0.0	0.0	10.5	7.9	7.9	15.8	5.3	5.3	38	
		自営業層	12.2	0.0	10.8	1.4	0.0	0.0	5.4	6.8	6.8	6.8	2.7	2.7	74	
		安定的労働者層	2.9	1.9	16.3	0.0	0.0	0.0	10.6	7.7	2.9	8.7	2.9	5.8	104	
		不安定労働者層	3.2	3.2	16.0	0.0	0.0	0.0	7.4	8.5	8.5	6.4	1.1	2.1	94	
		計	5.3	1.8	13.6	0.3	0.0	0.0	7.7	8.0	5.9	9.8	3.3	3.8	338	
		中	安定的経営・管理層	2.7	2.7	16.2	0.0	0.0	0.0	8.1	10.8	0.0	35.1	0.0	5.4	37
	不安定経営・管理層		2.1	2.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	8.5	27.7	2.1	2.1	47	
	自営業層		18.2	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	3.4	6.8	3.4	2.3	88	
	安定的労働者層		5.5	2.8	23.9	0.0	0.9	0.0	7.3	6.4	4.6	11.0	3.7	2.8	109	
	不安定労働者層		10.7	0.9	16.1	0.0	0.0	0.0	9.8	6.3	5.4	4.5	5.4	3.6	112	
		計	9.2	1.5	17.8	0.0	0.3	0.0	6.6	7.1	4.6	12.5	3.6	3.1	393	
	大	安定的経営・管理層	1.4	1.4	11.1	0.0	0.0	0.0	4.2	11.1	4.2	37.5	5.6	0.0	72	
不安定経営・管理層		7.0	3.5	19.3	0.0	0.0	0.0	1.8	7.0	1.8	33.3	3.5	0.0	57		
自営業層		16.5	0.6	17.7	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	5.1	6.3	1.3	0.6	158		
安定的労働者層		6.2	3.1	30.4	0.0	0.0	0.0	8.7	8.7	1.2	8.7	2.5	0.6	161		
不安定労働者層		7.5	0.7	19.7	1.4	0.0	0.0	10.9	7.5	6.1	6.1	1.4	1.4	147		
	計	8.7	1.7	21.0	0.3	0.0	0.0	6.7	7.2	3.9	13.3	2.4	0.7	595		
女	小	安定的経営・管理層	3.1	9.4	15.6	0.0	3.1	6.3	0.0	9.4	6.3	3.1	3.1	9.4	32	
		不安定経営・管理層	0.0	7.3	12.2	0.0	2.4	9.8	0.0	24.4	2.4	9.8	0.0	0.0	41	
		自営業層	5.3	8.0	12.0	4.0	6.7	6.7	0.0	8.0	4.0	0.0	2.7	5.3	75	
		安定的労働者層	3.2	10.6	20.2	4.3	6.4	5.3	0.0	14.9	4.3	0.0	0.0	6.4	94	
		不安定労働者層	3.3	11.1	23.3	2.2	7.8	11.1	1.1	10.0	4.4	0.0	2.2	5.6	90	
		計	3.3	9.6	17.8	2.7	6.0	7.8	0.3	12.7	4.2	1.5	1.5	5.4	332	
		中	安定的経営・管理層	2.7	10.8	10.8	0.0	2.7	10.8	0.0	21.6	5.4	2.7	0.0	5.4	37
	不安定経営・管理層		0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	11.5	0.0	11.5	11.5	0.0	3.8	3.8	26	
	自営業層		10.2	9.2	16.3	7.1	4.1	9.2	1.0	8.2	4.1	0.0	1.0	6.1	98	
	安定的労働者層		2.8	7.4	22.2	3.7	3.7	9.3	1.9	10.2	1.9	0.9	2.8	6.5	108	
	不安定労働者層		4.3	8.5	11.7	8.5	8.5	11.7	0.0	8.5	0.0	0.0	1.1	8.5	94	
		計	5.0	8.5	16.3	5.2	5.2	10.2	0.8	10.5	3.0	0.6	1.7	6.6	363	
	大	安定的経営・管理層	1.6	12.9	11.3	3.2	8.1	4.8	0.0	16.1	4.8	0.0	4.8	9.7	62	
不安定経営・管理層		7.0	5.3	24.6	1.8	8.8	15.8	1.8	14.0	1.8	3.5	0.0	1.8	57		
自営業層		8.9	11.6	11.6	4.8	4.1	11.0	2.7	7.5	2.7	2.1	0.7	3.4	146		
安定的労働者層		1.8	19.0	20.2	2.5	4.9	9.2	1.8	9.2	1.8	0.6	1.8	5.5	163		
不安定労働者層		5.5	15.1	19.9	6.8	7.5	8.9	2.1	8.2	2.7	0.0	1.4	2.1	146		
	計	5.1	14.1	17.4	4.2	6.1	9.8	1.9	9.8	2.6	1.0	1.6	4.2	574		

表9 子どもに希望する職業(母) (主要なもの)

単位: %

		商業 自営	一般 事務	公務 事務	美容師	看護婦	保育士	保安職	教員	医師	管理職	弁護士	芸術家	N	
男	小 3	安定的経営・管理層	3.4	0.0	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	6.9	17.2	3.4	3.4	29
		不安定経営・管理層	2.6	7.9	31.6	0.0	0.0	0.0	5.3	2.6	15.8	13.2	2.6	2.6	38
		自営業層	13.8	2.5	20.0	2.5	0.0	0.0	3.8	3.8	8.8	5.0	2.5	1.3	80
		安定的労働者層	3.8	4.7	21.7	0.9	0.0	0.0	6.6	9.4	8.5	8.5	1.9	5.7	106
		不安定労働者層	6.5	1.9	17.8	0.0	0.9	0.0	6.5	11.2	3.7	1.9	1.9	0.9	107
	計	6.7	3.3	21.1	0.8	0.3	0.0	5.3	8.3	7.8	6.9	2.2	2.8	360	
	5	安定的経営・管理層	2.6	2.6	21.1	0.0	0.0	0.0	2.6	23.7	0.0	28.9	2.6	2.6	38
		不安定経営・管理層	2.0	3.9	17.6	2.0	0.0	0.0	3.9	9.8	3.9	7.8	3.9	3.9	51
		自営業層	8.9	0.0	16.7	2.2	0.0	0.0	3.3	11.1	7.8	7.8	2.2	1.1	90
		安定的労働者層	2.8	1.8	16.5	0.9	2.8	0.0	8.3	16.5	5.5	4.6	1.8	4.6	109
		不安定労働者層	7.9	0.8	19.8	1.6	0.8	0.8	9.5	9.5	5.6	4.0	4.0	2.4	126
	計	5.6	1.4	18.1	1.4	1.0	0.2	6.5	13.0	5.3	7.7	2.9	2.9	414	
中 2	安定的経営・管理層	2.8	0.0	19.7	0.0	0.0	0.0	5.6	11.3	8.5	22.5	1.4	5.6	71	
	不安定経営・管理層	6.6	3.3	23.0	0.0	0.0	0.0	3.3	16.4	6.6	19.7	3.3	1.6	61	
	自営業層	11.5	1.9	19.2	1.9	0.6	0.0	3.2	8.3	5.1	5.1	3.2	0.6	156	
	安定的労働者層	3.5	1.8	25.3	0.6	2.4	0.0	8.8	16.5	1.2	9.4	1.2	2.9	170	
	不安定労働者層	5.0	1.3	23.3	0.6	0.6	0.0	8.8	10.1	3.8	7.5	1.9	1.3	159	
計	6.2	1.6	22.4	0.8	1.0	0.0	6.5	12.2	4.2	10.4	2.1	2.1	617		
小 3	安定的経営・管理層	6.3	9.4	9.4	3.1	12.5	6.3	3.1	18.8	6.3	3.1	0.0	3.1	32	
	不安定経営・管理層	0.0	5.0	7.5	5.0	17.5	12.5	0.0	10.0	2.5	10.0	0.0	2.5	40	
	自営業層	3.8	6.3	10.1	0.0	16.5	10.1	0.0	8.9	2.5	2.5	0.0	7.6	79	
	安定的労働者層	1.0	9.1	16.2	1.0	12.1	19.2	0.0	8.1	7.1	0.0	2.0	3.0	99	
	不安定労働者層	2.9	11.4	13.3	4.8	14.3	18.1	0.0	10.5	3.8	0.0	1.9	4.8	105	
計	2.5	8.7	12.4	2.5	14.4	14.9	0.3	10.1	4.5	2.0	1.1	4.5	355		
小 5	安定的経営・管理層	0.0	2.8	11.1	2.8	8.3	13.9	0.0	11.1	5.6	2.8	2.8	5.6	36	
	不安定経営・管理層	3.6	3.6	3.6	3.6	17.9	14.3	3.6	10.7	10.7	0.0	3.6	7.1	28	
	自営業層	6.3	4.2	8.3	6.3	18.8	16.7	0.0	6.3	2.1	1.0	0.0	3.1	96	
	安定的労働者層	1.8	8.8	15.9	5.3	12.4	15.9	0.0	9.7	2.7	0.0	1.8	7.1	113	
	不安定労働者層	0.9	8.8	10.5	4.4	15.8	15.8	0.9	7.0	1.8	0.9	0.0	8.8	114	
計	2.6	6.7	11.1	4.9	15.0	15.8	0.5	8.3	3.1	0.8	1.0	6.5	387		
中 2	安定的経営・管理層	1.5	6.2	12.3	1.5	6.2	4.6	0.0	26.2	4.6	0.0	1.5	13.8	65	
	不安定経営・管理層	5.3	3.5	12.3	3.5	19.3	17.5	0.0	12.3	0.0	3.5	0.0	5.3	57	
	自営業層	4.4	7.5	16.4	5.7	11.9	14.5	1.9	9.4	2.5	0.6	0.0	3.1	159	
	安定的労働者層	2.4	10.0	17.1	4.7	7.6	15.9	0.6	14.7	1.8	0.0	0.0	7.1	170	
	不安定労働者層	2.4	8.3	16.0	10.1	14.2	11.2	0.6	11.2	3.0	0.0	1.8	5.3	169	
計	3.1	7.9	15.6	6.0	11.5	13.2	0.8	13.4	2.4	0.5	0.6	6.1	620		

とも同様な傾向を示し、明確な階層差は見られない。したがって、母親の場合、男女を通じて、安定的経営・管理層に独自の傾向が見られるものの、それ以外は基本的に共通した職業期待のパターンになっていることが明らかになる。

こうして、父母の学歴期待は子どもがいずれの学年であっても男女によって大きく異なり、男子に対する学歴期待は女子よりも高かった。同時に父母の学歴期待は男女問わずすべての学年で安定的経営・管理層→不安定経営・管理層ないし安定的労働者層→自営業層→不安定労働者層の順に固定され、そこには大きな階層差が存在していた。しかし、それを子どもたちの学歴志向と比較すると、男子の場合、階層の違いなく、学歴志向が父母の学歴期待を下回る方向でずれが生じていた。一方、職業期待では、男子に対しては、父母ともに公務事務、管理的職業、教員がいずれの学年とも上位を占めていた。階層別に見ると、とくに父親の場合、自らの社会的地位の再生産につながるような職業期待をする傾向が見られた。しかし、女子に対する職業期待は父母の間で異なっていた。父親は階層の違いなく公務事務、教員、一般事務、保母を望んでいるのに対し、母親はいずれの階層でも保母、看護婦、教員を期待しており、専門職志向が父親より強かった。したがって、男子に対しては、階層によって異なる傾向を伴った形で、父母ともに同様な職業期待をもっているが、女子に対する職業期待は男子と異なるだけでなく、父母の間でも異なっていた。その意味で、学歴期待に関しては階層差を伴う子どもの性差が大きな影響を与え、職業期待に関しては階層差のあり方も含めて子どもと親の二重の性差が少なからぬ影響を及ぼしていることが明らかになったといえる。